令和元年度

事業報告書

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

令和元年度事業報告

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団は、京都コンサートホール、地域文化会館(5館)及びロームシアター京都の指定管理者として施設の運営に当たっております。

令和元年度は、京都コンサートホールと地域文化会館(5館)については指定管理者として4期目の初年度を迎え、ロームシアター京都については3期目の初年度を迎えるに当たり、更に安定的な事業運営・施設管理を行うとともに、「中期経営計画2021」に掲げる目標の達成に向けた取組を推進してまいりました。

京都コンサートホールにおいては、23回目となる「京都の秋 音楽祭」の実施や海外の一流オーケストラによる公演など世界水準による音楽鑑賞の機会を提供するとともに、新規事業として京都コンサートホール登録アーティスト制アウトリーチ事業「Join us(ジョイ・ナス)!~キョウト・ミュージック・アウトリーチ~」を実施し、小学校などを対象にクラシック音楽の素晴らしさを幅広く提供しました。

地域文化会館においても、地域との関わりを一層深め、地域の文化力の更なる向上 に貢献してまいりました。

ロームシアター京都については、2016年のオープンから3年を経て、「創造」「育成」「交流」「生活」の4つの事業の要素を柱に多彩な事業を展開し、「劇場文化」の創出を目指すとともに、適切な施設管理と来館者サービスの向上を図り、安定した運営を推進してまいりました。

さらに、京都市交響楽団は、京都の音楽の中心を担い、身近な存在として市民に愛され、文化芸術都市・京都の象徴として世界に向けて最高の音楽を発信し続けるオーケストラを目指すため、「京都市交響楽団ビジョン」を策定いたしました。そのうえで、「地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律」への対応を行うため、楽団員の財団職員化を図り、京都市交響楽団は新たなステージに踏み出しました。

『公益目的事業』

■ 京都コンサートホール

I 主催・共催事業 [全37事業42公演10講座(うち中止:2事業3公演)]

令和元年度は新たな指定管理期間の初年度として、文化芸術都市・京都におけるクラシック音楽の拠点である京都コンサートホールは、大ホール、アンサンブルホールムラタの両ホールでさまざまな事業に取り組んでまいりました。

ホールの基幹事業である「京都の秋 音楽祭」では、約2ヶ月間にわたり多彩な公演を開催 し、国際的な名声を誇る海外オーケストラ、指揮者、ソリストを招聘し、本物の芸術を鑑賞 できる機会を提供するなど、クラシック音楽専用ホールとしての役割を果たすと同時に、多 くの市民が文化芸術を享受し世界文化が交流する場としての役割も果たしました。

また、京都市交響楽団のフランチャイズホールであるという特徴を最大限に活かし、「京都の秋音楽祭開会記念コンサート」をはじめ、世界のトップ・アーティストとの共演を実現する「京響スーパーコンサート」を開催するなど、その機能強化を図ってまいりました。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、令和2年3月以降の事業は中止としました。

1 京都市交響楽団の更なる飛躍を促進



京都コンサートホールをフランチャイズホールとする京都市交響楽団の出演による優れた演奏会を開催しました。「第23回京都の秋 音楽祭 開会記念コンサート」では、指揮にワーグナー演奏を得意とする世界的指揮者の飯守泰次郎、ソリストにソプラノ歌手の森麻季を迎え、音楽祭開幕にふさわしい華やかなプログラムを提供しました。

また、世界のトップ・アーティストとの共演を実現する「京響スーパーコンサート」では、世界最高峰の合唱団として名高いスウェーデン放送合唱団をゲストに迎え、京都市交響楽団が世界に誇れる存在であることを広くアピールしました。さらに、京都市交響楽団のメンバーの活動を支える取組として、「ブランデンブルク協奏曲全曲演奏会~ケーテンのコンチェルト~」「ラ・メリ メロ アンサンブル Vol.4」「京都しんふぉにえった」「京都 ラ ビッシュ アンサンブル Vol.16」の4公演を制作し共催しました。

2 質の高い音楽芸術の鑑賞機会を提供

世界の響きをお届けする海外オーケストラ公演では、初来日となった『ベルギー王立リエージュ・フィルハーモニー管弦楽団』を招聘したほか、アメリカの5大オーケストラのひとつとして有名な『フィラデルフィア管弦楽団』を14年ぶりに招聘し、豪華絢爛な演奏で多くの音楽ファンを魅了しました。

アンサンブルホールムラタでは、5年目を迎えた「北山クラシック倶楽部」を展開し、海外のトップ・アーティストによる室内楽コンサート全7公演を開催し、世界最高峰と称される木管五重奏団やいま話題の若手奏者によるカルテットなど多彩な室内楽を展開し、質の高い演奏を通して京都の室内楽ファン層の開拓に寄与しました。





3 日本有数のパイプオルガンの活用

京都コンサートホールの大きな特徴のひとつである国内最大級のパイプオルガンを活用した「オムロン パイプオルガン コンサートシリーズ」では、話題の奏者を起用した〈オルガニスト・エトワール〉と海外で活躍するオルガニストを招いて行う〈世界のオルガニスト〉の2公演を開催しました。両公演ともにチケット完売となり、あらためてパイプオルガン公演の人気の高さが証明されることとなりました。

4 ジュニアオーケストラの運営/大学生を中心とした実演家の育成支援

平成17年度に設立した「京都市ジュニアオーケストラ」を京都市交響楽団員の演奏指導のもとに運営し、スーパーヴァイザーの広上淳一指揮による「第15回京都市ジュニアオーケストラコンサート」で練習の成果を発表しました。本公演では、ブラームスの《交響曲第1番ハ短調》などの大曲に挑んだことで、さらなる高みを目指して日々の練習に励むことができました。



また、京都市立芸術大学をはじめ関西の音楽大学8大学が集結する「関西の音楽大学オーケストラ・フェスティバル IN 京都コンサートホール」は第9回目を迎え、音楽教育の成果を発表する"音楽の檜舞台"の役割を果たすとともに、秋山和慶指揮のもと若い力が集結し、互いが刺激を受け、切磋琢磨しながら音楽を創り上げました。

5 子どもや青少年の創造性を育む事業

家族やクラシック音楽の初心者を対象とした『KCH的クラシック音楽のススメ』では、国際的に活躍するピアニストを招き、お話を交えながらクラシック音楽の楽しさを伝え、未来の聴衆を育成する役割を果たしました。

また、幼稚園児がオルガンに親しむ体験型演奏会「ポジティフオルガン体験講座」など子どもが音楽に触れるきっかけとなる演奏会を提供し、豊かな文化生活を営む未来の音楽愛好家の育成を行いました。

さらに令和元年度から新たにスタートした「Join us(ジョイ・ナス)!~キョウト・ミュージック・アウトリーチ~」では、京都ゆかりの若手音楽家3組が市内の小学校8校に在籍する小学生たちに生演奏を届けることで、豊かな心を育む情操教育の一助を担いました。





6 地域の活性化と市民参加型演奏会の開催

平日午前11時開演のワンコインコンサートとして人気シリーズとなった「おんがくア・ラ・カルト♪」では、チェロ、ピアノ、ソプラノに加えてシリーズ初登場となるチェンバロを加えた全4公演を開催しました。親しみあるお話とプログラムでクラシック音楽の多様性を提示し、音楽をより身近に感じていただける機会を提供しました。

また、京都コンサートホール1階エントランスホールを活用した賑わい事業として「ニュイ・ブランシュKYOTO 2019」(白夜祭)を開催しました。また、新しく始まった『京都コンサートホールロビーコンサート』では、リュート、ヴォーカル・アンサンブル、ヴァイオリンといったバラエティ豊かな演奏とプログラムを提供し、全ての回において多数の来場者に恵まれました。

8月・9月には、北山エリアの賑わいを創出するために、モザイクアートを題材に北山地域の皆様と協働で「北山モザイク」と称したアートプロジェクトを開催し、エントランスでは、「モザイク・カスタネット作り」ワークショップを開催しました。





加えて、「第23回京都の秋 音楽祭」の開催時期に合わせて京都市立芸術大学とコラボレーションし、京都コンサートホール1階エントランスの窓を京都市立芸術大学大学院の学生にデザインしていただきました。



(参考) 京都コンサートホールにおける事業・公演数の変遷

年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事 業 数	39 事業	38 事業	46 事業	37 事業
公演数	41 公演	41 公演	50 公演	42 公演
講座 数	4 講座	4 講座	4 講座	10 講座

[※] 令和元年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、うち2事業3公演中止。

7 音楽芸術の人材育成のための支援制度

将来の音楽芸術文化を担う人材の育成に資するため、音楽芸術活動を財政面で支援する「京都コンサートホール ホール利用助成金交付制度」を引き続き実施し、大学の交響楽団演奏会など10事業を支援しました。

また、大学からのインターンシップを2校、中学校での「生き方探究チャレンジ体験」を2校受け入れました。

(参考) 令和元年度京都コンサートホール ホール利用助成金交付制度による支援実績

事 業 名	事業日	主 催 者
京都大学交響楽団	6月28日 (金)	京都大学交響楽団
第205回定期演奏会	大ホール	京郁八子父誓采団
第8回京都両洋高等学校吹奏楽部	7月18日(木)	京都両洋高等学校
定期演奏会 リハーサル	大ホール	吹奏楽部
第8回京都両洋高等学校吹奏楽部	7月19日(金)	京都両洋高等学校
定期演奏会	大ホール	吹奏楽部
第56回 洛南高等学校吹奏楽部	11月19日 (火)	波
定期演奏会 リハーサル	大ホール	洛南高等学校吹奏楽部
第56回 洛南高等学校吹奏楽部	11月20日 (水)	 洛南高等学校吹奏楽部
定期演奏会	大ホール	俗用向寺子仪外关宋司
第56回 洛南高等学校吹奏楽部	11月21日 (木)	 洛南高等学校吹奏楽部
定期演奏会	大ホール	俗用向寺子仪外关朱祁
立命館大学交響楽団	12月20日 (金)	立命館大学交響楽団
第122回定期演奏会	大ホール	立即貼入子父譽宋也
京都橘大学吹奏楽部	12月23日 (月)	京都橘大学吹奏楽部
第18回定期演奏会	大ホール	京即個八子外关末即
京都大学交響楽団	1月10日(金)	京都大学交響楽団
第206回定期演奏会 京都公演	大ホール	京仰八子父誓宋凹
京都精華学園高等学校吹奏楽部	3月26日 (木)	京都精華学園高等学校
第33回定期演奏会	大ホール	吹奏楽部

[※]このほか、新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴うキャンセル7件

Ⅱ 受託事業

1 指定管理業務

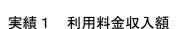
(1)施設(貸館)の利用実績

京都コンサートホールにおいては、「京都におけるクラシック音楽の殿堂」としての役割を十分に果たすとともに、若い芸術家たちの憧れの舞台となることを目指し、市民の芸術文化振興の拠点となるよう、営業活動を積極的に行うなど利用の促進に努めました。また、9月1日(日)には「京都市交響楽団オーケストラ・ディスカバリー2019」

において、平成7年10月開館以来の来場者数が600万人を達成し、大ホールホワイエにて記念セレモニーを行いました。

しかしながら、2月以降、新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う事業の中止等が生じており、利用日数や利用料金収入の実績にかなりの影響が出ています。

なお,消費税率の引き上げに伴い,施設利用料金等を令和 元年10月に改定しました。



			区	分				平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
ホ	_	ル	料	金	収	入	額	188,206 千円	203,167 千円	215,182 千円	183,729 千円
駐	車	場	利	用	収	入	額	17,984 千円	18,199 千円	17,956 千円	14,858 千円
			言	+				206,190 千円	221,366 千円	233,138 千円	198,587 千円

実績 2 入場者数

			区	分				平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
入	場	者	数	\mathcal{O}	目	標	値	270,000 名	300,000 名	325,000 名	290,000 名
入	場	者	数	の	実	績	値	258,587 名	299,450 名	295,466名	264,658 名
目	7	標	į	崖	成		度	95.8 %	99.8 %	90.9 %	91.2 %

実績3 日数利用率

大ホール

区 分					平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利用	月率 (日数)	の目标	漂 値	60 %	70 %	70 %	68 %
利用]率(日数)	の実	績 値	60 %	66 %	69 %	61 %
目	標	達	成	度	100 %	94.3 %	98.6 %	88.2 %

アンサンブルホールムラタ

]	区 分			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利用	月率(日	3数)	の目が	標値	58 %	57 %	58 %	60 %
利用	月率(日	3数)	の実	績値	54 %	58 %	61 %	57 %
目	標	達	成	度	93.0 %	101.8 %	105.2 %	95.0 %

2 お客様へのサービス向上に向けた取組

(1) お客様満足度向上委員会(CS委員会)の推進

平成21年度からCS(顧客満足度向上)委員会やホールレセプショニスト会議を毎月開催し、施設の管理運営における問題点の改善や利用者のサービス向上に努めました。

特にCS委員会においては、施設で働く各部門の従事者の代表が参加し、利用ニーズの 把握、要望の検証等を行い、「利用者が望むものは何か」を常に考え、利用者の期待の応 える接客・応対について協議してまいりました。

(2) アンケート調査の実施及び「理事長への手紙」・お客様ご意見箱の設置

平成23年11月から実施している「理事長への手紙」を引き続き実施し、手紙をいただいた皆様からの貴重なご意見を参考にサービス向上に努めました。

また、施設の利用に関する要望・提案をお伺いするため、「お客様ご意見箱」の設置や 施設を利用する全ての利用者(主催者、鑑賞者、来館者等)を対象に、アンケート調査 を実施しました。利用者・来館者からは下表のとおり、すべての項目において良好な評 価をいただきました。常に利用者・来館者の目線に立ち、さらなるサービス向上に努め てまいります。

さらに、京都コンサートホール・ロームシアター京都の施設をご利用いただいた皆様には、後日、アンケートを兼ねたお礼状(サンキューレター)を送付し、リピーターの確保及び利用者ニーズの把握に努めました。

項目	京 都 コンサート ホ ー ル	東部文化会館	呉竹文化 センター	西 文 化 会 館 ウエスティ	北文化会館	右 京 京 京れあい 文化会館	ロ ー ム シアター 京 都
案内表示	91%	99%	100%	92%	95%	97%	80%
応対の仕方	93%	99%	99%	93%	98%	97%	98%
身だしなみ	94%	100%	100%	96%	98%	99%	100%
態度	93%	99%	98%	95%	96%	98%	98%
言葉づかい	91%	100%	99%	93%	98%	96%	99%
説明の仕方	93%	99%	98%	93%	98%	96%	95%
窓口の印象	94%	100%	98%	96%	98%	96%	93%

(参考) アンケート調査の結果【満足と回答いただいた割合】

(3) 京都コンサートホール鑑賞マナーの推奨

鑑賞者に演奏会をより快適な空間・環境で楽しんでいただくため、「鑑賞マナーリーフレット」の配布や館内に鑑賞マナー向上を啓発するポスターを掲出して、京都コンサートホールに来ていただいた全ての鑑賞者が満足していただけるコンサートづくりに努めました。

(4) 施設・設備の維持管理

京都コンサートホールは開館から24年が経過したことで、施設・設備の経年劣化が進んでいるため、財団としてもより一層施設等の修繕に力を入れ、安全面や利用者の快適性を視野に入れた改善に取り組んでまいりました。所有者である京都市による施設・設備の改修及び修繕のほか、財団におきましても京都市との指定管理契約に基づき、計画的な改修並びに修繕に取り組みました。

また、京都市による劣化調査の結果を踏まえ大規模修繕へ向けて引き続き計画的対応を提案してまいります。

(参考) 主な修繕事例 (財団実施分)

修繕内容

大ホール前室ロールカーペット修繕

アンサンブルホールムラタ調光卓記憶保持用電池及び調光盤内 直流電源取替修繕

冷温水配管漏水修繕

アプローチ土間タイル修繕

総合案内板誘導用電子チャイム取替修繕

館内看板等修繕

(5) 施設管理体制の更なる強化

利用者, 観客等の安全確保を最優先に考え, 令和元年度は, 平成29年度に実施した 公演中の地震・火災発生を想定した「避難訓練コンサート」の経験を活かし, より一層 緻密な「防火・防災訓練」を行い, 職員の危機管理意識の更なる向上に努めました。

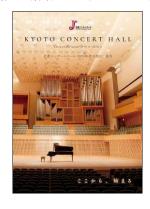
3 広報・宣伝、チケット販売営業及び外部資金獲得等に関する業務

(1) 主催事業ラインアップ・リーフレットの発行

年間の主催事業ラインアップを事業のシリーズ毎に分類して紹介するレイアウトで構成し、発行しました。

(2)催物カレンダーの発行

京都コンサートホールが自ら企画する主催・共催事業, それらに関するコラムのほか, 京都コンサートホールで開催される最新の催物情報を掲載したコンサートガイドを毎月発行し, 催物情報の提供やチケット販売促進に努めました。







(3) ホームページ等の充実

インターネットの利点を最大限に活かし、常に新鮮な情報を発信するため、Facebook・Twitter公式アカウント、公式ブログやYouTubeを活用し、効果的な情報提供を行いました。

また、ホームページに公演の魅力を盛り込んだインタビュー動画等を掲載するなど、 公演情報の閲覧からチケット購入に繋がる工夫に加え、2021年に開催される東京オ リンピック・パラリンピック競技大会に向け、外国人観光客にも分かりやすい英語版ホ ームページの制作にも継続して取り組みました。

今後は、さらに魅力あるホームページとなるよう、充実を図ってまいります。

会 館 名	平成30年度	令和元年度	令和元年度 -平成30年度
京都コンサートホール	92,777 件	97,449 件	4,672 件
ロームシアター京都	246,864 件	258,478 件	11,614 件
東部文化会館	12,660 件	12,630 件	-30 件
呉竹文化センター	17,335 件	17,727 件	392件
西文化会館ウエスティ	11,064 件	11,820 件	756件
北 文 化 会 館	17,366 件	19,199件	1,833 件
右京ふれあい文化会館	16,027 件	16,277 件	250 件
京都市交響楽団	88,555 件	98,279 件	9,724 件

(参考) ホームページ月平均アクセス件数

(4)館内サイン改修による利便性の向上

館内サイン表示が建築意匠を汲んだモノトーンを基調としたデザインが多く、また経年劣化により分かりにくい事から、サイン表示を見直し、時代に即したサイン・テクニックを駆使して、どの世代にも理解しやすいユニバーサルデザインにするとともに、建築家の建築意匠を汲んだサイン表示へ改修しました。







(5) チケット票券管理システムの効果的な運用

京都コンサートホールとロームシアター京都で開催する催しのチケットが相互で購入できるサービスや、インターネットからのチケット購入において各施設の窓口で引き取れるなど利便性の向上に引き続き取り組みました。

[※]平成30年度より、googleアナリティクスよりアクセス数を算出。

(6) 貸館利用者のチケット販売受託業務の実施

チケット管理システム(Gettii)を使用して、貸館利用者のチケット販売を受託(手数料10%)し、施設利用者や観客の利便性向上に貢献しました。

(参考) 入場券販売業務受託状況

会 館 名	受託件数	収入金額
京都コンサートホール	160 件	13,217,677 円
ロームシアター京都	106 件	9,782,924 円
計	266 件	23,000,601 円

(7) セット券の販売

京都コンサートホールでは、開館20周年(平成27年度)を契機にセット券の販売を開始しました。令和元年度は、ベルギー王立リエージュ・フィルハーモニー管弦楽団、フィラデルフィア管弦楽団、そして京響スーパーコンサートを組み合わせたオーケストラ・セット券「ビック3」を販売しました。また、アンサンブルホールムラタでは、世界のトップクラスの室内楽を鑑賞する「北山クラシック倶楽部」において、前半3公演、後半4公演の2回に分けて、それぞれ100枚限定でセット券を販売しました。

共通座席「マイシート」も継続し、大ホール・アンサンブルホールムラタの両ホール で最上級の音楽の鑑賞機会を提供しました。

(8) 学生、高齢者、障がいのある方等が音楽を鑑賞しやすい環境の整備

京都コンサートホールの主催事業における学生割引、シニア割引、障がいのある方割引を実施し、学生、高齢者、障がいのある方が音楽を鑑賞しやすい環境を整備しました。

(9) ウィークデーパッケージプランの運用

クラシック音楽だけではなく、他のジャンルにも間口を広げ、多様な音楽ファンが集 えるホールとして「京都コンサートホールウィークデーパッケージプラン」を引き続き 実施し、平日のホール利用率向上に貢献しました。

(参考) ウィークデーパッケージプラン事業数

年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事 業 数	13 事業	11 事業	16 事業	5 事業

(参考) 令和元年度 京都コンサートホール ウィークデーパッケージプラン実施実績

事 業 名	事業日	主 催 者	
シネマ・コンサート	4月12日 (金)	シネマ・ソラ	
	アンサンブルホールムラタ	シホマ・ノノ	
シネマ・コンサート	7月26日 (金)	200 115	
シネマ・コンサート	アンサンブルホールムラタ	シネマ・ソラ	
クリスマス/アヴェマリア	12月12日 (木)	+1 >p	
サンクトペテルブルグ室内合奏団	大ホール	オトノワ	
垣内悠希指揮 京都市交響楽団楽団	12月13日 (金)	古却 こ が	
ベートーヴェン「第九」	大ホール	京都ミューズ	
	1月10日(金)	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	
シネマ・コンサート	アンサンブルホールムラタ	シネマ・ソラ	

[※]このほか、新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴うキャンセル2件

(10) 京都コンサートホール記念グッズの販売

「京都の秋 音楽祭」の祝祭感を演出するため、「AUTUMN KYOTO MUSIC FESTIVAL」や「KYOTO CONCERT HALL」の文字をプリントしたエコバック、スリムケース、トラフィカ京カードを作成、販売し、多くの来館者にご購入いただきました。

(11)外部資金の獲得

主催事業の実施に当たっては、文化庁助成、民間助成に加え、民間企業等からの協賛 金の獲得に努めました。さらには、賛助会員制度(4 各種会員制度等の運営(2) 賛助会員制度の運営 参照)の活用を行いました。

4 各種会員制度等の運営

(1) 各種会員制度の会員数拡大に向けた取組

「京都コンサートホール・ロームシアター京都Club」「京響友の会」の各会員制度の周知を図るとともに、会員共通サービスとして京都市交響楽団の練習風景の公開やバックステージツアーを開催するなど、各会員制度を有機的に活用し、新規会員の獲得に努めました。

また、オンライン会員の「フレンズ会員」(ロームシアター京都との共通会員) については、メールマガジンで先行発売の情報などを配信し、会員数の維持・拡大を図りました。

(参考) 会員数の推移

会 員 制 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
京都コンサートホールClub	3,513名	3,074 名	2,897 名	2,761 名
京響友の会個人会員	1,396 名	1,406 名	1,433 名	1,439 名
京響友の会 法人会員	99 社	100 社	95 社	98 社

(参考) フレンズ会員登録数

年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
新規登録数	9,036名	7,151 名	7,857 名	9,458 名
累計登録数	35,890名	43,041 名	50,898名	60,356 名

(2) 賛助会員制度の運営

京都コンサートホールならびにロームシアター京都の主催事業の一層の充実のため、 年間を通じた支援を受けるべく、 賛助会員制度(サポーター・パートナー会員)を設け ています。会員の方には、会報の送付、チケットの先行予約のほか、会員向けバックス テージツアーやゲネプロ公開、また、事業報告会を開催するなど、会員の方に事業内容 を深くご理解いただき継続してご支援いただけるように努めました。

なお、寄附金は、京都コンサートホールおよびロームシアター京都の主催事業の事業 費に充当しました。

(参考) 会員数と寄附金

会員区分		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
スペシャルサポーター	(法人)	1件	50 万円	1件	50 万円	2 件	100 万円
サポーター	(法人)	27 件	290 万円	31 件	340 万円	28 件	290 万円
スペシャルパートナー	(個人)	34 件	178 万円	32 件	162 万円	36 件	176 万円
パートナー	(個人)	50 件	100 万円	45 件	90 万円	46 件	92 万円
合 計		112 件	618 万円	109件	642 万円	112 件	658 万円

■ 地域文化会館

(東部文化会館, 呉竹文化センター, 西文化会館ウエスティ, 北文化会館, 右京 ふれあい文化会館)

I 主催事業〔全53事業70公演18講座(うち中止:5事業10公演)〕

地域文化会館が地域の文化芸術の活動拠点として、平成23年度から取り組んできた「地域文化芸術活動活性化協議会」「文化芸術活性化パートナーシップ事業」「アウトリーチ事業」などを引き続き実施し、文化芸術活動団体、行政、学校関係、地元の各団体等とのネットワークを強化し、文化芸術活動情報の受発信、文化芸術活動団体育成や支援、地域イベントへの積極的な関与など、地域との関わりを深め、地域の文化芸術の振興に取り組みました。なお、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、令和2年2月以降の事業は中止としました。

1 地域文化芸術活動活性化協議会の開催



地域文化芸術活動活性化協議会からの提案や意見を受け、 コーディネイターが地域の文化芸術活動団体・個人と連携 する事業を各地域文化会館で実施しました。

東部文化会館では、市営地下鉄山科駅「音の広場」において、地域の文化芸術活動団体(コーラス、器楽アンサンブル、大正琴、雅楽など)がパフォーマンスを行う「ナイス・ミート@エコム2019」(年4回、うち1回中止)を、

具竹文化センターでは、「南インド古典舞踊を楽しもう」を、西文化会館ウエスティでは、プロ・アマチュアを問わず地域の音楽活動団体がパフォーマンスを行う「ウエスティ・パフォーマンス広場」(年2回)を、右京ふれあい文化会館では、地域の方々が気軽に舞台芸術文化などに触れる機会を提供する「あーる de 右京」(年11回)を開催し、多くの方々にご観覧いただき、文化芸術を通した交流を図りました。

※ 地域文化芸術活動活性化協議会とは

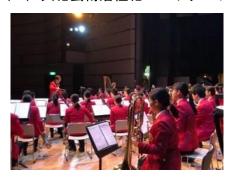
文化芸術活動団体、行政の代表者、教育機関の代表者などで構成され、地域ネットワークの構築、文化芸術の情報提供、アウトリーチ事業の開催協力、施設運営への助言や意見交換などを行うとともに、協議会の持つネットワークを活用し、文化芸術活動情報の受発信、事業の協働企画・開催など、地域文化会館が文化芸術の活動拠点として、より一層、地域における文化芸術の活性化を図るとともに、魅力ある地域のまちづくりに貢献するため、平成23年度から各地域文化会館に設置しています。

2 地域文化会館の重点的な取組

地域文化会館では、以下の5つの視点を重視した文化事業を実施しました。

- ① 文化芸術活性化パートナーシップ事業
- ② 地域における文化芸術普及事業
- ③ 地域の文化芸術活動を担う人材育成事業
- ④ 住民の文化芸術活動への支援型事業
- ⑤ 施設間の交流事業

(1) 文化芸術活性化パートナーシップ事業



地域の文化芸術の活性化を図るため、各地域文化会館ではパートナー団体と協働で、鑑賞型の「無料公演」に加え、地域の子どもたちを対象とした育成型プログラムである「教育プログラム」を実施しました。

例として、東部文化会館では、京都橘大学吹奏楽部 による地元中学校の吹奏楽部への演奏指導を実施し、 右京ふれあい文化会館では、NEO吹奏楽団による地元

小学校における子ども向けコンサートを開催するなど、未来を担う人材育成に注力しま した。

(参考)	令和元年度パー	トナーシッ	プ団体
(シワ)	13/14/UT-/X/ 1	1 / / /	7 LH 14

会 館 名	パートナーシップ団体
ま 却 よ ル ヘ め	日吉ヶ丘ギターマンドリンアンサンブル
東部文化会館	京都橘大学吹奏楽部
四	京・伏見音楽サークル和音
呉竹文化センター	墨染交響楽団
正文//·人始占一つこ、	吹奏楽団京都ムジークフェライン
西文化会館ウエスティ	特定非営利活動法人 京都フィルハーモニー室内合奏団
北	吹奏楽団「雅」
北文化会館	京都セシリア合唱団
ナ京とれまい文ル入紋	NEO吹奏楽団
右京ふれあい文化会館	RAM吹奏楽団

※ 文化芸術活性化パートナーシップ事業とは

演劇・音楽・ダンスなど舞台芸術活動団体(パートナーシップ団体)と地域文化会館が、協働して地域の文化芸術を活性化することを目的とし、魅力ある舞台芸術を披露する「無料公演」、未来を担う子どもたちを対象にワークショップやミニコンサートなどを行う「教育プログラム」を会館内外で年1回以上開催することを条件に、拠点となる文化会館のホールを練習で利用する場合、通常料金の2割で利用することができるほか、文化会館が活動情報の発信や地域活動への協力などを行う事業です。

(2) 地域における文化芸術普及事業

ア 地域の伝統芸能を披露

古都京都の財産である地域の芸能を市民に披露する事業として、各地域文化会館において地域の伝統芸能の掘り起しを行い、伝統芸能事業を開催しました。東部文化会館では茂山逸平と大蔵流狂言師による狂言の実演と解説を交えた「地域のみんなの狂言鑑賞

会」、西文化会館ウエスティでは、プロの噺家による落語の 競演会として、伝統芸能シリーズ「第1回ウエスティ新春 寄席」、右京ふれあい文化会館では未来へつなぐ伝統芸能シ リーズとして「能」の歴史をわかりやすく解説・仕舞体験・ 鑑賞する入門講座「はじめての能 その2 初級編」を実施 し、鑑賞のポイントや「能」の魅力を紹介しました。



(参考) 各地域文化会館の開催内容

会 館 名	タイトル	内 容
東部文化会館	地域のみんなの狂言鑑賞会	小学生を対象とした, 狂言の解説と 実演を交えた鑑賞会
呉竹文化センター	藤森神社 藤森雅楽会による 雅楽鑑賞会	雅楽の歴史や楽器紹介を交えた鑑賞 会
西文化会館ウエスティ	第1回ウエスティ新春寄席	プロの噺家4人による落語競演会
北文化会館	能楽鑑賞への招待 ~京都の大学生による能楽演舞~	京都市内の3大学の能楽サークルに よる解説を交えた能楽の演舞会
右京ふれあい文化会館	はじめての能 その2 初級編	子供を主な対象とした, 謡やお囃子 の体験等を交えた能楽の鑑賞会

イ アウトリーチ事業

活動団体(文化芸術活動団体)を主催団体(学校等の教育施設,病院や福祉施設,商業施設等)に派遣し,ワークショップやミニコンサートを行うアウトリーチ事業を,令和元年度は5館で計56公演実施しました。具体的活動として,東部文化会館では,「第8回健康すこやか花まつり」のイベントで活動団体が演奏し,呉竹



文化センターでは、地域の敬老会で大学の落語研究会が落語を披露しました。西文化会館ウエスティでは、高齢者介護施設や西京区役所洛西支所において、寄席やミニコンサートを実施し、北文化会館では、商業施設の中庭での演奏や地域の中学校吹奏楽部への演奏ワークショップを行いました。また、右京ふれあい文化会館では、地域の小学校で児童が生の演奏に触れるミニコンサートやワークショップを実施するなど、5つの文化会館で、市民が身近に文化芸術に触れる機会を創出しました。

(参考) 各会館のアウトリーチ事業 (一部)

会 館 名	内 容
東部文化会館	大圓寺集会所において「リコーダー・アンサンブル・カノン」
来	によるミニコンサートを実施
呉竹文化センター	納所会館で開催された地域の敬老会レクリエーションにおい
英竹 文化ピングー	て「同志社大学落語研究会」が寄席を実施
 西文化会館ウエスティ	高齢者介護施設洛西で定期開催されている演奏会において、
四人化云郎ワエクティ	「野上憲治(ウクレレ)」が演奏を披露
 北 文 化 会 館	加茂川中学校において,「吹奏楽団 雅」によるワークショップ
北文化会館	を実施
ナ古とれない立ル合館	宇多野病院において,毎年恒例のフェスティバルに「たまはち
右京ふれあい文化会館	(三味線とパーカッション)」が出演

(3) 地域の文化芸術活動を担う人材育成事業

ア 地域の教育機関との連携

東部文化会館では地元大学と協定(※)を締結し、文化・芸術の振興に寄与する人材を育成することを目的に「文化芸術による地域貢献プロジェクト」を、呉竹文化センターでは、



京都市内6大学の落語研究会・サークルの学生による「第26回学生お笑い呉竹寄席」を 開催しました。また、京都市立芸術大学と各地域文化会館が連携して才能ある若い世代を 支援するため、西文化会館ウエスティでは「ウエスティ音暦(おとごよみ)」を、北文化会 館では「文化会館コンサート」を、それぞれ年2回実施しました。

※ 地元大学と協定(京都橘大学との連携)

(ア) 概要



地域文化会館では、地域の特性を活かした文化芸術活動の拠点となるために、地域の文化芸術団体等との連携などに積極的に取り組んでいます。それらの活動をさらに発展させるため、平成27年11月5日に京都橘大学において、東部文化会館と京都橘大学との連携に関する協定の締結を行い、令和元年度も継続して、

地域の文化・芸術の振興に寄与する人材を育成することを目的とする「文化芸術による地域貢献プロジェクト」を実施しました。

(イ) 具体的な連携内容

- a 会館の主催事業,アウトリーチ事業等に現代ビジネス学部都市環境デザイン学科等の学生がインターシップとして参加する。
- b アートマネジメント学修に資するため,舞台運 営や施設の管理,事業への取組等について学修す



る機会を創る。

- c 学生がインターシップで得た知識や経験等を活かし、文化芸術の振興や、文化芸術を活用した地域の発展やまちの賑わい創出等に貢献する企画立案・実施を、会館とともに行う。
- d 会館が今後の主催事業等の運営に活かせるように、大学の協力のもと、事業の 在り方や実施方法等について研究する機会を得ることなど、その成果を発表する 機会等を創る。

(4) 住民の文化芸術活動への支援型事業

ア 市民参加型事業 (活動団体の支援)

市民の誰もが自己表現できることに感動できる事業として、東部文化会館では地域のコーラス団体による「第15回コーラス・フェスティバル in 山科・醍醐」、 呉竹文化センターでは「第9回市民創造ステージ」の ほかに、会館のピアノを演奏することのできる「スタインウェイを弾いてみよう」、西文化会館ウエスティで



は「市民創造ステージ」、また、右京ふれあい文化会館では大人のバンド活動を応援する 「心に響く、おとな BAND SESSION 2019」を開催しました。

イ 地域と連携しアーティストのパフォーマンスを支援

東部文化会館では、市営地下鉄山科駅「音の広場」において、地域の文化芸術活動団体がパフォーマンスを行う「ナイス・ミート@エコム2019」を年4回(うち1回中

止)開催しました。また,西文化会館ウエスティでは 地域のネットワークを活用し,地元で活動している文 化芸術活動団体にパフォーマンスの場を提供し,アー ティストの技術・芸術性向上を支援するため,地域文 化芸術活動活性化協議会との連携により「ウエスティ・パフォーマンス広場」を年2回開催しました。



ウ 文化芸術活動パワーアップ支援事業

演劇,舞踊,伝統芸能などの舞台芸術や絵画・工芸品の作品展示など,幅広い市民の文化芸術活動に対し,各地域文化会館のコーディネイターが施設活用や舞台づくりのアドバイスを行い,芸術性や創作性の向上に向けた支援を行うとともに,経費の一部を助成する「文化芸術活動パワーアップ支援事業」を継続実施しました。



(参考) 令和元年度は1団体を支援

会 館 名	支援団体・個人名	活動(企画)名
呉竹文化センター	劇団P-COURT	旗揚げ公演「ライブ」

※ 文化芸術活動パワーアップ支援事業とは

地域文化会館のコーディネイト力を活用して,市民文化活動の芸術性の向上,文化芸術団体相互のネットワークの強化,地元団体と文化芸術団体との連携の促進等に取り組むことにより,地域の文化芸術活動の活性化を図ることを目的として行う事業です。

エ 創作文化活動の作品展示



創作文化活動を行う個人・団体を対象に、会館施設の一部を作品展示の場として無料で提供する東部文化会館の「ギャラリーエコム」、呉竹文化センターの「呉竹アートケース」、西文化会館ウエスティの「ウエスティギャラリー」、北文化会館の「KITABUNミニギャラリー」、右京ふれあい文化会館の「右京ふれあいミニギャラリー」を通年で開催しました。また、東部文化会館におい

ては, 市営地下鉄椥辻駅構内において山科区役所が実施する「アートロードなぎつじ」 の受付事務を行うなど, 地域の皆様の創作活動の作品展示の場を提供しました。

オ 舞台芸術活動なんでも相談会

市民の舞台芸術の芸術性や創造性を高めるため、公演やコンサートの照明・音響の演出、舞台運営方法など舞台づくりに関する相談について、専門性豊かな技術担当者が提案やアドバイスを継続実施しました。

(5) 施設間の交流事業

ア ロームシアター京都との連携事業

地域の文化芸術の拠点として機能する地域文化会館 5 館と、文化芸術の創造・発信拠点であるロームシア ター京都が連携し、子どもたちの初めての劇場体験の 場を創出し、劇場文化の醸成を図ることを目的として、 セリフのない子ども向け演劇作品「カラフルパズル」



を上演しました。また、次年度以降の企画立案や将来的な新作作品の発表を見据え、地域住民や演劇関係者が参加して議論する勉強会(2回)を開催しました。

イ 鑑賞型事業の実施

市民の誰もが気軽にクラシック音楽を楽しんでいただけるよう入場料を廉価に設定し、何処かで聴いたことのある楽曲を京都市交響楽団のメンバー「京都しんふおにえった」が演奏する「ちょっと素敵な朝からクラシック」を呉竹文化センター(2公演)、北文化会館(1公演)で開催しました。



ウ 京都市ジュニアオーケストラの活動支援



京都市交響楽団が指導する「京都市ジュニア オーケストラ」の音楽活動を充実させるため、 練習会場として地域文化会館を活用するととも に、活動内容の情報を発信するなど、若いオー ケストラを支える環境づくりに取り組みました。 また、右京ふれあい文化会館において、京都

市ジュニアオーケストラとドイツのライプツィヒ ユース シンフォニー オーケストラ (ライプツィヒ市立音楽教室の一機関として創立され、世界各国で演奏実績のあるユース オーケストラ) との合同演奏会を開催しました。

年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業数	43 事業	52 事業	50 事業	53 事業
公演数	70 公演	75 公演	74 公演	70 公演
講座数	2 講座	11 講座	20 講座	18 講座

(参考) 文化会館における事業・公演数の変遷

[※] 上記の数にアウトリーチ事業は含まない。

[※] 令和元年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、うち5事業10公演中止。

Ⅱ 受託事業

1 指定管理業務

(1)施設(貸館)の利用実績

地域文化会館(ホール)が市民の文化芸術活動の拠点としての役割を十分果たすとと もに、指定管理者として利用料金収入の増収を図るため、営業の強化に努めるとともに 割引制度などを導入し、利用の促進を図りました。

しかしながら、2月以降、新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う事業の中止等が 生じており、利用日数や利用料金収入の実績にかなりの影響が出ています。

なお,消費税率の引き上げに伴い,施設利用料金等を令和元年10月に改定しました。

東部文化会館

ア 入場者数及び利用料金収入額

区分	平成30年度	令和元年度
入場者数(ホール)数値	43,127 名	40,694 名
利用料金収入額	30,756 千円	29,069 千円
駐車場利用料金収入額	3,955 千円	4,569 千円

イ 日数利用率

	×		分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利月	用率 (日数)	の目を	標値	61 %	62 %	62 %	63 %
利月	用率 (日数)	の実	績値	61 %	59 %	64 %	55 %
目	標	達	成	度	100 %	95.2 %	103.2 %	87.3 %

呉竹文化センター

ア 入場者数及び利用料金収入額

区分	平成30年度	令和元年度
入場者数(ホール)数値	59,884 名	59,045 名
利用料金収入額	37,665 千円	36,178 千円

イ 日数利用率

区	分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利用率 (日数)	の目標値	80 %	80 %	78 %	76 %
利用率 (日数)	の実績値	78 %	76 %	74 %	69 %
目 標 達	成 度	97.5 %	95.0 %	94.9 %	90.7 %

西文化会館ウエスティ

ア 入場者数及び利用料金収入額

区分	平成30年度	令和元年度
入場者数(ホール)数値	34,678 名	49,663 名
利用料金収入額	31,099 千円	30,247 千円
駐車場利用料金収入額	5,003 千円	4,858 千円

イ 日数利用率

	×	<u>.</u> (分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利用	率(日数)	の目標	標値	61 %	66 %	62 %	61 %
利用	率(日数)	の実	績値	66 %	57 %	60 %	60 %
目	標	達	成	度	108.2 %	86.4 %	96.8 %	98.3 %

北文化会館

ア 入場者数及び利用料金収入額

区分	平成30年度	令和元年度
入場者数(ホール)数値	35,666 名	26,196 名
利用料金収入額	38,126 千円	31,591 千円

イ 日数利用率

	区	. ,	分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利用]率(日	3数)	の目を	標値	82 %	80 %	80 %	80 %
利用]率(日	3数)	の実	績値	78 %	77 %	77 %	59 %
目	標	達	成	度	95.1 %	96.3 %	96.3 %	73.7 %

右京ふれあい文化会館

ア 入場者数及び利用料金収入額

区分	平成30年度	令和元年度
入場者数(ホール)数値	41,727 名	38,890 名
利用料金収入額	33,631 千円	35,562 千円
駐車場利用料金収入額	4,286 千円	4,013 千円

イ 日数利用率

	×		分	·	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利用	率(日数)	の目	標値	76 %	76 %	76 %	76 %
利用	率(日数)	の実	績値	74 %	77 %	69 %	67 %
目	標	達	成	度	97.4 %	101.3 %	90.8 %	88.1 %

(2) 舞台運営に関する企画等

主催者から舞台美術,舞台音響,舞台照明等に関する企画業務を受託しました。これまでの舞台運営業務を通して蓄積したノウハウを利用者に提供し、利用者はもとより、 観客に満足していただける舞台運営に努めました。

(参考) 令和元年度 催し物の企画業務に関する受託状況

会 館 名	受託件数	受 託 内 容	収入金額
西文化会館ウエスティ	7件	バレエ教室発表会,幼稚園発表 会等	76,600 円
右京ふれあい文化会館	3件	和太鼓コンサート,学芸会 他	32,800 円
計	10 件		109,400 円

2 お客様へのサービス向上に向けた取組

(1) お客様満足度向上委員会(CS委員会)の推進【再掲】

京都コンサートホール 7ページ参照

(2) **アンケート調査の実施及び「理事長への手紙」・お客様ご意見箱の**設置【再掲】 京都コンサートホール 7ページ参照

(3) 施設・設備の維持管理

東部文化会館, 呉竹文化センター, 西文化会館ウエスティ, 北文化会館はいずれも開館から20年以上が経過しているため, 施設の所有者である京都市による施設の改修及び修繕のほか, 財団でも, 京都市との指定管理契約に基づき, 計画的な改修並びに修繕に取り組みました。

(参考) 主な修繕事例 (財団実施分)

会 館 名	修繕内容		
東部文化会館	屋内消火栓設備呼水槽改修工事		
呉竹文化センター	地下機械室冷温水系補給水管取換修繕		
西文化会館ウエスティ	機械室ダクト修繕		
北 文 化 会 館	管理用通路扉改修修繕		
右京ふれあい文化会館	GHPロビー系統冷媒漏洩調査及び修繕		

3 利用促進向上の取組

(1)地域文化会館割引制度

平成23年度からの利用料金制度導入に伴い,地域文化会館のホール利用を促進する ため、平日のホールの追加利用・区分連続利用に対するサービスの向上に努めました。

ア 平日直前利用割引制度

京都コンサートホール(大ホール・アンサンブルホールムラタ)及びロームシアター 京都(メインホール・サウスホール),地域文化会館(ホール)のいずれかで,演奏会・ コンサート・講演会等の諸手続きが完了しており,ホール本番利用日の2箇月前の日か ら本番までの平日利用に限り,ホールを準備・リハーサル等で新たに利用される場合は, 通常利用料金の50%を割り引く制度。

令和元年度 平日直前利用割引制度適用件数

会 館 名	受託件数	主 な 利 用 者
東部文化会館	3件	バレエ教室,大学合唱サークル
呉竹文化センター	1件	合唱団体
西文化会館ウエスティ	4 件	ピアノ教室,合唱団体等
右京ふれあい文化会館	8件	学校関係,福祉施設
計	16 件	

イ 平日連続区分利用割引制度

ホールを平日に2区分以上連続して利用する場合は、通常利用料金の15%を割り引く制度。

令和元年度 平日連続区分利用割引制度適用件数

会 館 名	受託件数	主な利用者
東部文化会館	49 件	学校関係,保育園,バレエ教室等
呉竹文化センター	61 件	学校関係,保育園,行政機関等
西文化会館ウエスティ	31 件	学校関係, 合唱団, 行政機関等
北 文 化 会 館	25 件	学校関係,幼稚園,バレエ教室等
右京ふれあい文化会館	39 件	学校関係,企業,バレエ教室等
計	205 件	

■ ロームシアター京都

Ⅰ 主催・共催事業〔32事業87公演10講座(うち中止:4事業8公演2講座)〕

令和元年度は、新たな指定管理期間の初年度として、ロームシアター京都オープニング事業の4つの要素「創造」「育成」「交流」「生活」を核としながら、洋の東西を問わず世界水準の優れた作品をお届けすることはもちろん、劇場の財産となる作品のプロデュースや次代を担う芸術家の育成にも取り組んでまいりました。更にロームシアター京都が開かれた場として、人々の交流を活性化させるべく、京都の様々な施設や団体と連携しながら、地域に根をおろしていく事業を展開しました。あわせて、賑わいスペース事業やミュージックサロン事業等により、賑わいの創出や身近に文化芸術に親しむための取組を進めました。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、令和2年2月以降の事業は中止としました。

1 主催・共催事業関連

新たな指定管理期間の一年目として重要な第一歩を踏み出すロームシアター京都は、「世界市民のための劇場へ」をテーマに創造・交流・育成・生活の4つの事業の要素を柱に「劇場文化」を創出してまいりました。

令和元年度事業は、これまで以上に「総合」に分類される事業が増えています。ロームシアター京都がご紹介する作品・プロジェクトは、その質はもちろんのこと、チャレンジ精神も重要な要素です。従来の「演劇」「音楽」「舞踊」などのジャンルでは分類しきれない新しい取組は、複合的な要素を持ったものであり、ラインアップを通じて新しい価値を提示していくものです。同時に作品と社会の関係や、作品を創造し育むための様々な視点を得ながら、ロームシアター京都ならではの方法を試行錯誤し、今日における劇場の果たすべき役割を模索してまいりました。

上記の目的を果たすため、自ら舞台芸術作品を企画・制作するシリーズ、他の劇場・芸術団体と共同で新作を制作するシリーズを発展させました。さらに、地域文化会館や青少年活動センターなど、京都で活動する他の文化施設と連携し、京都における文化芸術のハブとしての機能を高めるための事業を実施しました。小澤征爾音楽塾や新国立劇場高校生のためのオペラ鑑賞教室といった従来の事業に加え、新たに「劇場の学校プロジェクト」を開始することで、次代を担う若者を育成する事業をより深化させていきました。また、京都国際舞台芸術祭といった国内外の交流と地域の賑わいを創出する事業も引き続き実施しました。

【主な事業】

● 演劇

- ·第345回~第349回 市民寄席
- ・日本ポーランド国交樹立100周年記念 ヤネック・ツルコフスキ「マルガレーテ」
- ・能楽チャリティ公演 ~被災地復興、京都からの祈り~
- ・村田沙耶香×松井周 inseparable「変半身(かわりみ)」





● 舞踊

- ・ディミトリス・パパイオアヌー「THE GREAT TAMER」
- ・レパートリーの創造 ジゼル・ヴィエンヌ、エティエンヌ・ビドー=レイ「ショールームダミーズ #4」
- ・全京都洋舞協議会 60周年記念公演 Beyond the Generations ~世代を超えて~





● 音楽

- ・新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室 2019「蝶々夫人」
- ・東京バレエ団×京都市交響楽団 クリスマススペシャル バレエ「くるみ割り人形」<全幕>
- ・室内オペラ「サイレンス」〈日本初演〉





● 総合

- · KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2019
- ・ロームシアター京都×京都芸術センター U35創造支援プログラム "KIPPU"
- ・ロームシアター京都×京都市文化会館5館連携事業 『カラフルパズル』ダンセマ・ダンス・シアター from リトアニア
- ・プレイ!シアター in Summer 2019 オープンデイ
- · OKAZAKI PARK STAGE
- ・ジョーン・ジョナス 京都賞受賞記念 パフォーマンス「Reanimation」





● 参加する劇場へ ~学芸・教育プログラム

ロームシアター京都が開かれた場所として、人々の交流や憩いの場となるよう、さまざ まな形で積極的に参加できる取組を行いました。

- ・ロームシアター京都× (公財) 京都市ユースサービス協会連携事業「未来のわたし ―劇場の仕事―」
- 劇場の学校プロジェクト
- ・地域の課題を考えるプラットフォーム
- ・ロームシアター京都 リサーチプログラム
- ・「いま」を考えるトークシリーズ vol.9~vol.10





2 賑わいスペース事業

「京都会館賑わいスペース事業プラン」を推進するため、賑わいスペース事業者として京都市に選定されたカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社(CCC)と調整・連携を図り、市民や観光客の皆様の新たな憩いの場となるパークプラザを中心に、ブック&カフェ、レストラン、キオスクといった常設の店舗が高い評価を得て運営されるよう努めました。

また、ロームシアター京都が、舞台芸術のためだけでない、より開かれた場として多くの 方の交流の場となることを目指し、賑わいスペース事業者と連携し、「建築・デザイン・食」 などをコンセプトとした生活文化等に関わる様々な文化イベントを実施しました。

事業内容	店舗名	営業時間	
ブック&カフェ	京都岡崎 蔦屋書店	午前8時から午後10時	
(パークプラザ1階)	スターバックスコーヒー	十川の時かり十後10時	
レストラン	古郷エガンニラフ	左前の時から左然11時	
(パークプラザ2階)	京都モダンテラス	午前8時から午後11時	
キオスク(サウスホール1階	7-311 1	左关 0 吐头 2 左後 1 0 吐	
ホワイエ内)	ファミリーマート	午前8時から午後10時	
ギャラリー・ライブラリー		午前9時から午後7時	
(パークプラザ3階共通ロビー)	BOOK&ART GALLERIA	(開館時間等に応じて変更)	

実績 入店者数

			区	分				平成29年度	平成30年度	令和元年度
入	店	者	数	\mathcal{O}	実	績	値	1,773,488名	1,708,053名	1,720,295名

3 ミュージックサロン事業

音楽をはじめとした文化芸術に様々な形で触れ合うことができる音楽総合体験施設「ミュージックサロン」(パークプラザ3階)を、公益財団法人ローム ミュージック ファンデーションと共同運営しています。

ミュージックサロンでは、①音楽その他文化芸術に関する資料の展示、②セミナー、講演会、コンサート等の文化芸術イベントの開催を中心としており、令和元年度は、ローム ミュージックファンデーションが支援した音楽家等による隔月のコンサートのほかに、企画展示会「オペラの扉2019~KNOCK THE DOOR OPERA EXHIBITION~」や、小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクト公演に合わせた「小澤征爾音楽塾展2020」などを開催しました。実際に使用された貴重な衣装などを映像や写真とともに展示し、子どもから大人まで多くの方がオペラに親しみ、楽しむきっかけになることを目的に行い、多くの方に鑑賞いただきました。

開催内容

期間	内容
7911日]	1 1 1 1
4/1 ~ 4/14	【上映】魂の楽器 ホルン 〜世界一難しいと言われる金管楽器〜 オン ザ・スクリーン
4/15 ~ 5/6	【上映】ローム ミュージック フェスティバル 2019
5/7 ~ 5/31	オン ザ・スクリーン 【上映】「京都・国際音楽学生フェスティバル」オン ザ・スクリーン
3/1 3 3/31	
$5/11 \sim 5/12$	【コンサート】ROHM CLASSIC SPECIALトーク&コンサート 作曲家シリーズ モーツァルトの世界 〜ピアノ・ソナタで楽しむモーツァルト〜
6/1 ~ 6/15	【上映】魂の楽器 ホルン 〜世界一難しいと言われる金管楽器〜 オン ザ・スクリーン
6/16 ~ 6/30	【上映】オーボエで歌い・舞う! ~こころに沁み入る音色~ オン ザ・スクリーン
7/1 ~ 7/15	【上映】ハープの優雅な調べ 〜知られざるハーピストの苦悩〜 オン ザ・スクリーン
7/16 ~ 7/31	【上映】木管のお父さん ファゴット 〜魅力ある低音のダンディズム〜 オン ザ・スクリーン
7/20 ~ 7/21	【コンサート】ROHM CLASSIC SPECIAL トーク&コンサート 作曲家シリーズ モーツァルトの世界 ~モーツァルトで巡るウィーンへの旅~
8/3 ~ 9/12	【上映】スカラシップコンサート オン ザ・スクリーン
9/7 ~ 9/8	【コンサート】ROHM CLASSIC SPECIAL トーク&コンサート 作曲家シリーズ モーツァルトの世界 ~モーツァルトの光と影~
9/14 ~ 12/5	【展示】ROHM CLASSIC SPECIAL オペラの扉2019 ~KNOCKING ON THE DOOR, OPERA EXHIBITION~ 新国立劇場オペラの衣裳展
12/7 ~ 12/8	【コンサート】ROHM CLASSIC SPECIAL トーク&コンサート 作曲家シリーズ ドヴォルジャークの世界 ~チェコの弦楽の響き~
$12/10 \sim 1/23$	【展示】小澤征爾音楽塾展2020(第1部)
1/25 ~ 1/26	【コンサート】ROHM CLASSIC SPECIAL トーク&コンサート 作曲家シリーズ ドヴォルジャークの世界 ~スラヴの哀しみと真珠の輝き~
1/28 ~ 3/12	【展示】小澤征爾音楽塾展2020(第2部) ※当初3/25まで開催予定だったが,新型コロナウイルス感染拡大防止のため,3/13 以降公演中止。
2/2 ~ 2/2	【コンサート】小澤征爾音楽塾展コンサート 〜塾生が奏でるそれぞれのJ.シュトラウスⅡ世〜 Vol.1≪チェロ編≫
2/8 ~ 2/8	【コンサート】小澤征爾音楽塾展コンサート 〜塾生が奏でるそれぞれのJ.シュトラウスⅡ世〜 Vol.2≪ヴァイオリン編≫
2/23 ~ 2/23	【コンサート】小澤征爾音楽塾展コンサート 〜塾生が奏でるそれぞれのJ.シュトラウスⅡ世〜 Vol.3≪オーボエ&フルート編≫
3/27 ~ 3/28	【公演中止】ROHM CLASSIC SPECIAL トーク&コンサート 作曲家シリーズ ショパンの世界 ~ショパンが愛したポーランド舞曲~

実績 来場者数

			区	分				平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
来	場	者	数	0)	実	績	値	18,278 名	12,203 名	9,440 名	9,964名

Ⅱ 受託事業

1 指定管理業務

(1)施設(貸館)の利用実績

平成28年1月にリニューアルオープンしたロームシアター京都は、令和元年度においても、各施設の特性を生かした舞台芸術公演や式典、集会、MICEといった様々な利用で、非常に多くの方にご利用いただくことができました。

多様な利用内容に伴う様々なニーズに応えられるよう,利用者やお客様のご案内,場内サービス,各種設備の運転等について,実際の利用状況や利用者からのご意見等を踏まえた確認・改善を引き続き進め,安全,安心で快適な劇場空間の提供に努めました。

また、下見や利用相談への丁寧な対応、また利用者アンケートの実施等により、繰り返しロームシアター京都をご利用いただけるよう、利用促進に向けた取組を行いました。しかしながら、2月以降、新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う事業の中止等が生じており、利用日数や利用料金収入の実績にかなりの影響が出ています。

なお,消費税率の引き上げに伴い,施設利用料金等を令和元年10月に改定しました。

実績 1 利用料金収入額

				区	分					平成29年度	平成30年度	令和元年度
利	用	料	金	収	入	の	目	標	値	323,000 千円	328,000 千円	343,149 千円
利	用	料	金	収	入	の	実	績	値	353,364 千円	333,812 千円	337,152 千円
目		標		j	室		成		度	109.4 %	101.8 %	98.3 %

実績2 入場者数

			区	分				平成29年度	平成30年度	令和元年度
入	場	者	数	\mathcal{O}	目	標	値	450,000 名	510,000 名	510,000 名
入	場	者	数	\mathcal{O}	実	績	値	707,367 名	497,784 名	478,875 名
目		標	į	幸	成		度	157.2 %	97.6 %	93.9 %

実績3 日数利用率

	区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	利用率(日数)の目標値	85 %	83 %	82 %
メインホール	利用率(日数)の実績値	82 %	81 %	74 %
	目 標 達 成 度	96.4 %	97.6 %	90.2 %
	利用率(日数)の目標値	75 %	82 %	81 %
サウスホール	利用率(日数)の実績値	76 %	80 %	77 %
	目 標 達 成 度	101.3 %	97.6 %	95.1 %
	利用率(日数)の目標値	76 %	75 %	73 %
ノースホール	利用率(日数)の実績値	74 %	72 %	77 %
	目 標 達 成 度	97.3 %	96.0 %	105.5 %

(2) 岡崎公園の利用受付業務

ロームシアター京都に隣接する岡崎公園の利用受付等に関する業務を京都市より受託 し、申請書の受付等の業務を行いました。

2 お客様へのサービス向上に向けた取組

(1) お客様満足度向上委員会 (CS委員会) や研修等の実施

利用者・来場者の安心・安全を確保し、施設管理運営における問題点の改善やサービス向上のため、職員や委託業者が参加するCS(顧客満足度向上)委員会や研修等を開催しました。

(2) アンケート調査の実施及び「理事長への手紙」の設置【再掲】

京都コンサートホール 7ページ参照

(3) 賑わいスペース事業者定期連絡会の開催

賑わいスペース事業における各店舗の責任者等との定期的な連絡会を開催し、日常的な施設運営に係る様々な情報共有を行い、サービスの向上に努めました。

(4) 施設・設備の維持管理

開館から4年が経過し、多くの利用をいただく中で、施設としての機能を適切に維持するために修繕等を実施したほか、利用者、観客等の安全面や快適性を視野に入れた機能向上に引き続き取り組んでいます。所有者である京都市による施設・設備の修繕のほか、財団におきましても京都市との指定管理契約に基づき、修繕や機能向上に取り組みました。

施	設	名	機能向上內容
全		館	案内表示 改修
全		館	トイレ 集中清掃

(参考) 主な機能向上等事例 (財団実施分)

3 広報・宣伝、チケット販売営業及び外部資金獲得等に関する業務

主催事業ラインアップ・リーフレット、催物カレンダーの作成、ホームページやSNSの運用、賑わい事業者と連携した取組、また、様々な広報媒体への働きかけ等により、効果的な情報提供や話題作りを行い、新たな劇場への期待感を高めるとともに、施設の認知度を高める取組を進め、来場者や利用者の増加につなげました。

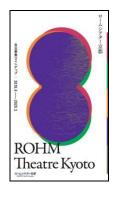
加えて、企業からの協賛金や文化庁をはじめとする各種助成金の獲得へ向けた取組を行うとともに、平成26年度に開始した賛助会員制度(サポーター・パートナー会員)についても、新規の会員獲得に引き続き取り組み、外部資金の獲得等による劇場経営の基盤強化を図り、積極的な事業展開につなげてまいりました。

(1) 主催事業ラインアップ・リーフレットの発行

平成29年度から引き続き、主催事業ラインアップを事業の趣旨に分類して紹介する レイアウトで構成し2回発行しました。(春号:平成31年4月,秋号:令和元年10月)

(2) 催物カレンダーの発行

ロームシアター京都が自ら企画する主催・共催事業のほか,ロームシアター京都で開催される最新の催物情報を掲載したものを毎月発行し、催し物情報の提供やチケット販売促進に努めました。







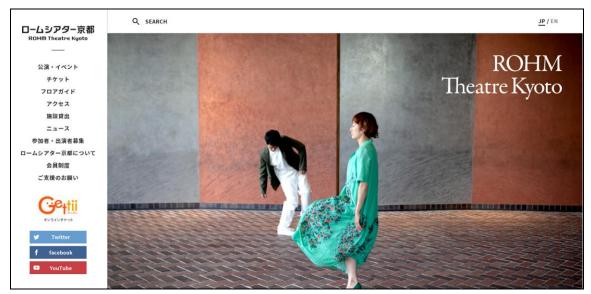


ア 主催事業ラインアップ・リーフレット

イ 催物カレンダー

(3) ホームページ等の充実

ホームページについては、アクセス分析等を踏まえ、適宜仕様変更を行いました。また、FacebookやTwitter等のSNSも活用し、効果的な情報提供に努めました。



(4) チケット票券管理システムの効果的な運用【再掲】

京都コンサートホール 9ページ参照

(5) 貸館利用者のチケット販売受託業務の実施【再掲】

京都コンサートホール 10ページ参照

(6) 外部資金の獲得【再掲】

京都コンサートホール 11ページ参照

4 各種会員制度の運営

(1) 各種会員制度の会員数拡大に向けた取組【再掲】

京都コンサートホール 11ページ参照

(2) 賛助会員制度の運営【再掲】

京都コンサートホール 12ページ参照

■ 京都市交響楽団

I 主催・共催事業〔全28事業52公演

(うち無観客ライブ配信:1事業1公演,中止:1事業2公演)〕

1 定期演奏会

日本を代表する3人の常任指揮者陣,広上淳一,高関健,下野竜也のそれぞれの特色を生かした個性的なプログラムに加え,世界で活躍する指揮者やソリストを迎え,芸術性の高い演奏会を提供しました。

2 特別演奏会

スプリングコンサートは、常任首席客演指揮者の下野竜也の指揮により、ドヴォルザークが新世界アメリカでの生活や印象をもとに作曲した交響曲第9番「新世界より」やベートーヴェンの「三重協奏曲」など、京都で活躍する名手たちをソロに迎えて、春を彩る華やかな名曲をご堪能いただきました。

年末恒例の第九コンサートでは、東京交響楽団桂冠指揮者の名匠ユベール・スダーンを指揮者に迎え、メンデルスゾーンの演奏会用序曲とともに、選り抜きの歌手陣と京響コーラスとの共演でベートーヴェンの最高傑作をお楽しみいただきました

また、ニューイヤーコンサートでは、2016年ミュンヘン室内管の首席指揮者に就任したドイツ期待の若手クレメンス・シュルトを指揮者に迎え、シューマンの交響曲「ライン」で雄壮に新年を祝いました。

3 市外公演

世界に誇れるオーケストラとして、京都市交響楽団を広く国内外へアピールし、実力に相応しい知名度や評価を全国区で確固たるものとするため、恒例となった大阪・名古屋に加えて、2017年の「サントリー音楽賞受賞記念コンサート」以来2年ぶりとなる東京での公演を行いました。

4 オーケストラ・ディスカバリー ~こどものためのオーケストラ入門~

「オーケストラへようこそ!」と題して、オーケストラやクラシック音楽が持つ魅力を名曲の演奏と楽しいお話でご案内しました。青少年の情操の向上や健全な心の育成とともに、若い世代へのオーケストラの振興と普及を図ることを目的として、年4回のシリーズ券を設定することにより、定期演奏会の会員への導入コンサートとしての位置づけで開催し、将来のクラシック愛好家を育みました。

5 みんなのコンサート

地域文化会館を会場に低料金で0才から入場できる演奏会を開催し、日頃クラシック音楽に接する機会の少ない市民の皆様にも身近で生の演奏に接する機会を提供し、地域密着型のオーケストラとしてクラシック音楽の普及、クラシック音楽ファンの醸成、京響ファンの獲得を図りました。

6 京響プレミアム

クラシック音楽のジャンルを超えたアーティスト・芸術文化とのコラボレーションによる 演奏会を、京都のほか、埼玉でも開催し、オーケストラの生み出す新しい音楽世界の魅力を 提供することにより、幅広いオーケストラファンの獲得を図りました。

7 共催事業

京都市内の小・中学校の全児童・生徒を対象とした音楽鑑賞教室を開催し、クラシック音楽の普及と新たなクラシックファンの獲得を図りました。

8 その他演奏会等

(1) 楽器講習会等

吹奏楽連盟の協力のもと、中学生や高校生を対象に、楽器の実技指導や音楽全般に関する指導・助言を行いました。また、訪問演奏や派遣演奏など、京都市が開催する行事 等への参加も行いました。

(2)練習風景公開

京都市交響楽団が身近な存在であることをアピールし、より一層の関心をもってもら うために、練習場において合奏練習している姿を一般に公開し、聴衆拡大につなげまし た。

(3) 京響コーラス

平成7年に発足した「京響第九合唱団」を母体とする市民合唱団を平成24年度から京都市交響楽団との共演を軸にオーケストラ合唱作品を中心に活動する京響附属合唱団「京響コーラス」に改名し、その運営に携わり、8月の定期演奏会、12月の特別演奏会(第九)などで共演を行いました。

(4) 京都市ジュニアオーケストラ、若手音楽家との連携

京都市ジュニアオーケストラの演奏指導を行うなど、将来の音楽文化の担い手を育成し、京都の音楽文化の更なる発展を目指して演奏指導を行いました。

また,京都市交響楽団と京都市立芸術大学が相互に連携を深め,楽団が学生に実践的な学びの場を提供することにより,未来の優れた音楽家を育成し,ひいては,京都市の音楽芸術文化の発展に寄与することを目的として,両者による協定の締結を行いました。

Ⅱ 受託事業

「広上淳一×京都市交響楽団 倉吉スペシャル演奏会」等,京都市交響楽団の京都市内外での知名度の向上を図るとともに,より充実した主催事業を実施するための資金を獲得するため,学生を対象とした音楽鑑賞教室やびわ湖ホール主催のオペラなど,29事業43公演の企画及び開催業務を受託しました。

■その他

I 事業運営の透明化. 適正化の推進

1 企画運営委員会(全4回)・貸館等審査委員会

京都コンサートホール及びロームシアター京都を審議対象とする「公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団企画運営委員会」を四半期毎に開催し、企画・運営に関する基本事項の審議や助言をいただきました。

また,両館の貸館事業をより適切に運営するため,「貸館等審査委員会」を開催し,事業運営の透明化及び適正化の推進を図ってまいりました。

2 舞台芸術専門委員会

舞台芸術の専門委員による舞台芸術専門委員会を開催し、京都ならではの舞台芸術の創造 や発信を目的とする舞台芸術活動の助言をいただきました。

Ⅱ 環境への配慮

「環境モデル都市・京都」の取組として、平成20年2月に認証取得したKESステップ1について、令和2年2月に継続認証を取得しました。

Ⅲ 情報の収集

1 公立文化施設協会等への参加

公立文化施設を構成員とする,公益社団法人全国公立文化施設協会,公益社団法人全国公立文化施設協会近畿支部,京都府公立文化施設協議会に京都コンサートホール,ロームシアター京都が加盟し,事業に参画しました。

2 コンサートホール企画連絡会議への参加

運営環境が類似する国内主要ホールを構成員とするコンサートホール企画連絡会議に京都 コンサートホールが参画し、事業や昨今の公立施設を取り巻く環境の変化について情報収集 を行いました。

■ 組織運営のための取組

I 組織人員体制・配置等の最適化

平成25年4月から運用を開始した新人事給与制度により,経営の安定化を図るとともに, プロパー職員が財団運営の中心となって働きがいのある職場づくりを進めるよう取り組んで まいりました。

また、平成28年度からは嘱託職員の人事・給与制度の改正を行い、財団で働く職員全員が働きがいのある職場となるように努めてまいりました。

1 組織改正

令和元年度は、平成30年度に引き続き、総務部、事業管理部、ロームシアター京都、京都市交響楽団の4部門体制とし、管理運営施設の経営を総合的かつ安定的に展開するとともに、「中期経営計画2021」に掲げる目標の達成に向けた取組を推進してまいりました。

京都コンサートホール,地域文化会館については,4期目の指定管理者の初年度を,ロームシアター京都については,3期目の初年度を迎えるに当たり,指定管理者申請で提案した内容を確実に実施するとともに,求められる役割や特性,機能を最大限に発揮するため,プロパー職員登用を積極的に行うなど体制強化を図りました。

また、京都市交響楽団においては、「地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律」への対応を的確に行うため、京都市との連携強化を図る体制を整えました。

2 京都市交響楽団楽団員の財団職員化に向けた取組

京都市交響楽団については、「京都市交響楽団条例」のもと、楽団員、京都市とともに、京響発展のための方向性を市民の皆様に示す「京都市交響楽団ビジョン」を策定しました。

さらに、令和2年4月からの京都市交響楽団楽団員の当財団への受入れについては、京都市との協議により、京都市からの財団に対する財政・人的支援の具体的な内容を決定するとともに、楽団員の労働条件の調整や財団職員との処遇の整合性の確保等を行い、スムーズな移管を図りました。

3 組織運営

以下の会議の定例的な開催により、京都コンサートホール、地域文化会館、ロームシアター京都及び京都市交響楽団の管理運営に係る事項について情報を共有し、貸館業務、施設管理業務の統一的な処理とそれぞれのホール特性に応じた主催事業の展開等について検討するなど、円滑な財団運営に努めました。

① 財団定例会

構成員:専務理事,事務局長,ロームシアター京都副館長,事業管理部長,シニアマネージャー,総務課長,事業企画課長,管理課長,管理課担当課長,京都市交響楽団管理課長,チーフマネージャー,ロームシアター京都管理課長,総務係長,経理係長,事業企画係長,管理係長,文化会館担当係長

② 文化会館館長会議

構成員: 専務理事, 事務局長, 事業管理部長, 総務課長, 管理課担当課長, 文化会館館長, 総務係長, 経理係長, 文化会館担当係長

③ 文化会館連絡会議

構成員:管理課担当課長(チーフコーディネイター),文化会館担当係長,文化会館の副 館長

④ ロームシアター京都定例会

構成員:専務理事,事務局長,ロームシアター京都副館長,総務課長,ロームシアター京都管理課長,事業担当課長,舞台技術課長,ロームシアター京都庶務係長,ロームシアター京都管理係長,事業担当係長

4 人事異動

平成31年4月1日付けで総数28名の人事異動を行いました。

平成28年度 平成29年度 平成30年度 令和元年度 職名 般 職 員 31 名 34名 39名 46名 託 職 員 44名 嘱 42 名 45 名 39 名 市からの出向職員 7名 7名 7名 6名 市派遣嘱託職員 87 名 85 名 84 名 84 名 171名 167名 180名 計 169 名

(参考1)財団職員数の推移

※各年度すべて4月1日現在の人数

(女女 o \	財団役職別職員数の推移
(参差り)	时间役職划職自数(1)推移

	職名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
局	長	級	2名	3名	2 名	2 名
部	長	級	5名	3名	3名	2 名
課	長	級	12名	13名	14 名	14 名
係	長	級	13名	12名	14 名	16 名
IJ (ー ダ主 任)	13名	14名	11 名	12 名
職		員	36名	41 名	41 名	50 名
音	楽スタッ	・フ	4名	4名	4名	4名
楽	団	員	82 名	81 名	80 名	80 名
	計		167名	171名	169名	180名

Ⅱ 働き方改革等への対応

令和元年度については、これまでの人事給与制度の運用を安定的に行うとともに、働き方 改革等への対応が行えるように効果的な組織運営を構築し、年次有給休暇の取得の推進や更 なる時間外労働の抑制の推進を図りました。

Ⅲ 人材育成・職員研修

職員一人ひとりが、常に知識、意欲、技術の向上を図ることで、利用者により一層好感度を高めていただくとともに、市民の文化芸術活動を適切に支援し、さらに文化芸術の振興のための事業を効果的に行うことができるよう研修を実施しました。

令和元年度は、係長級及び課長級職員を対象に管理職として仕事に臨むためのマインドを 養成し、そのために必要なスキルを習得することを目的とした研修を実施しました。

接遇・応対研修については、平成30年度に引き続き実施し、職員の接遇・応対マナーの 向上に取り組みました。

また、各施設において消防訓練の実施や、AED講習など、様々な危機管理・安全対策研修 や講習を実施することにより、職員の緊急時における対応・知識力を向上させ、不測の事態 にも冷静に対応できるように備えました。

さらに, ロームシアター京都においては, 舞台安全管理研修等も実施し, お客様に安全・ 安心に施設をご利用いただけるよう万全の態勢を整えました。

研修名	接遇マナー研修					
実 施 日	令和元年7月9日(火)					
受講人数	80名					
	研修「接遇マナー研修」					
研修内容	講師					
	株式会社インソース 三宅 道子 氏					
会 場	京都市北文化会館					
研修名	係長・課長級職員研修					
実 施 日	令和元年10月29日(火)					
受講人数	23名					
加修由索	・管理職に求められるマネジメントとは					
研修内容	・管理職の役割と行動基準 ほか					
会 場	京都市北文化会館					

(参考) 令和元年度 研修内容

Ⅳ 庶務報告

1 役員会の開催

令和元年度は、次のとおり理事会及び評議員会を開催し、すべての議案について可決されました。

(1)第1回理事会 令和元年5月22日

<議案> ・平成30年度事業報告について

- ・平成30年度特定費用準備資金及び特定資産取得・改良資金の保有について
- ・平成30年度補正予算について
- ・平成30年度決算について
- ・令和元年度特別寄附金の受領について

- ・令和元年度補正予算について
- ・令和元年度等追加事業について
- ・令和元年度第1回評議員会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項について
- ・顧問の選任について
- ・京都国際舞台芸術祭(KYOTO EXPERIMENT)実行委員会への債務保証に ついて
- <報告> ・京都市交響楽団ビジョン(仮称)について
 - ・「京響友の会」元会員から提起された民事訴訟の高裁判決について
 - ・京都市交響楽団と京都市立芸術大学との連携に係る協定について

(2) 第1回評議員会 令和元年6月18日

- <議案> ・平成30年度事業報告について
 - ・平成30年度決算について
 - ・理事・監事及び評議員の辞任について
 - ・理事の選任について
 - ・監事の選任について
 - ・評議員の選任について
- <報告> ・京都市交響楽団楽団員の当財団への受入れについて

(3)第2回理事会 令和元年6月18日

(書面評決)

<議案> ・業務執行理事(専務理事)の選定について

(4)第3回理事会 令和元年9月6日

- <報告> ・京都市交響楽団ビジョン(仮称)策定に係る市民意見の公募について
 - ・令和元年度事業計画(中止・変更)について

(5)第4回理事会 令和元年11月20日

<議案> ・令和2年度主要事業計画について

<報告> ・京都市交響楽団ビジョン(仮称)策定に係る市民意見募集の結果について

・京都市交響楽団楽団員の受入れに向けた取組状況について

(6) 第5回理事会 令和2年3月24日

<議案> ・令和2年度事業計画について

・令和2年度収支予算について

<報告> ・京都市交響楽団楽団員の受入れに向けた取組状況について

- ・新型コロナウイルス感染症に関する対応状況について
- ・三浦基氏のロームシアター京都館長就任の延期について
- ・広上淳一氏の京都コンサートホール館長就任について

・京都国際舞台芸術祭(KYOTO EXPERIMENT)実行委員会への債務保証に ついて

2 役員の異動

(1) 第1回評議員会による承認

ア 理事の就任

氏 名	役 職(承認日現在)	就 任 日
森 川 佳 昭	元京都市職員	令和元年6月18日
染 川 里 美	オムロン株式会社グローバルインベスター&ブランドコ	△和二年6日10日
染 川 里 美 	ミュニケーション本部ブランドコミュニケーション部長	令和元年6月18日

イ 理事の辞任

氏	名	役 職(退任日現在)	辞 任 日
	1	京都市立芸術大学名誉教授	令和元年6月18日
田隅靖子		前京都コンサートホール館長	7741几十0月10日
⇒ ⇒	: 秀 規	オムロン株式会社グローバル人財総務本部	令和元年6月18日
水水	75 况	グローバル総務部部長	7741几十0月10日
藤井	宏一郎	元京都市職員	令和元年6月18日

ウ 監事の就任

氏 名	役 職(承認日現在)	就 任 日
並 川 哲 男	京都市文化市民局くらし安全推進部長	令和元年6月18日

エ 監事の辞任

氏 名	役 職(退任日現在)	辞 任 日
川端昌和	前京都市文化市民局共同参画社会推進部長	令和元年6月18日

オ 評議員の就任

氏 名	役 職 (承認日現在)	就 任 日
赤松玉女	京都市立芸術大学学長	令和元年6月18日

カ 評議員の辞任

		氏	名		役 職(退任日現在)	辞 任 日
Į	Щ	内		清	京都市国際交流会館館長	令和元年6月18日
<u> </u>	能	田	清	<u> </u>	前京都市立芸術大学学長	令和元年6月18日

3 登記事項

第1回評議員会による評議員・理事の変更

氏 名							登記日
理		事	森	Ш	佳	昭	
理		事	染	Ш	里	美	
監		事	並	Ш	哲	男	令和元年7月17日
評	議	員	赤	松	玉	女	

V 環境への配慮

「環境モデル都市・京都」の取組として、平成20年2月に認証取得したKESステップ1について、令和2年2月に継続認証を取得しました。職員全員が環境マネジメント活動を推進し、地域環境との調和を目指し、積極的な節電対策など環境に配慮した会館運営を行いました。

『収益事業』

I 公益目的外の施設提供事業

1 駐車場経営

指定管理業務として、主に来館者向け駐車場を運営しました。

(参考)

会 館 名	駐車可能台数	収入金額
京都コンサートホール	100台	14,858,450 円
東部文化会館	37 台	4,569,700 円
西文化会館ウエスティ	53 台	4,858,100 円
右京ふれあい文化会館	67 台	4,013,900 円
計	257 台	28,300,150 円

2 オリジナルグッズ販売等

京都コンサートホールオリジナルグッズ(11種類),音楽に関連したグッズ(約30種類), ロームシアター京都オリジナルグッズ(1種類)及び京響オリジナルグッズ(3種類)を販売しました。

(参考)

項目	収入金額
京都コンサートホールグッズ収入	453,383 円
ロームシアター京都グッズ収入	542,000 円
プログラム等販売収入	692,600 円
チケット印刷	77,355 円
京響オリジナルグッズ収入	502,223 円
計	2,267,561 円

3 プレイガイドの運営

主催者から,入場券の作成業務及び入場券の販売業務を受託し,それぞれのプレイガイドで販売しました。

(参考) 入場券販売業務受託状況

会 館 名	受託件数	収入金額
京都コンサートホール	160 件	13,217,677 円
東部文化会館	1件	300 円
呉竹文化センター	6件	15,950 円
西文化会館ウエスティ	1件	400 円
北 文 化 会 館	6件	19,600 円
右京ふれあい文化会館	3件	1,550 円
ロームシアター京都	106 件	9,782,924 円
計	283 件	23,038,401 円

4 自動販売機の管理運営

京都コンサートホールに設置された自動販売機の管理運営を行いました。

(参考)

会 館 名	収入金額
京都コンサートホール	15,405 円
計	15,405 円

令和元年度

決 算 書

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

貸借対照表

令和2年3月31日現在

計画				(単位:円)
1. 流動資産 現金預金	科 目	当年度	前年度	増減
1. 流動資産 現金預金	I 資産の部			
現金預金 未収金 232, 407, 458 291, 003, 624 △ 58, 596, 16 貯蔵品 7, 437, 533 8, 886, 824 △ 1, 449, 29 立替金 5, 598, 766 9, 676, 686 △ 4, 077, 92 仮払金 30, 000 30, 000 30, 000 前払金 17, 500 48, 820 △ 31, 32 後資産合計 614, 135, 338 619, 659, 979 △ 5, 524, 64 21 固定資産 (1)基本財産 20, 000, 000 △ 20, 000, 000 △ 20, 000, 00				
未収金 232,407,458 291,003,624		368, 644, 081	310, 014, 025	58, 630, 056
貯蔵品				
立替金 仮払金 30,000 30,000 30,000 101 30,000 101 30,000 101 30,000 101 30,000 101 30,000 101 30,000 101 30,000 101 30,000 101 30,000 101 30,000 101 30,000 100,00				
仮払金				
前払金 流動資産合計 2. 固定資産 (1)基本財産 投資有価証券 投資有価証券 投資有価証券 投資有価証券 の 20,000,000 △ 20,000,000 産期預金 基本財産合計 (2)特定資産 記念事業引当資産 記念事業引当資産 記念事業引当資産 おおきの人間を資産 おおきの人間を資産 特定資産の時に対しています。 特定資産の時に対しています。 特定資産の時に対しています。 特定資産の時に対しています。 おおきの人間を資産 付器備品 のおおり金 をの他間定資産 付器備品 のおおり金 をの他間定資産 インスの他間定資産 インスの他間定資産 インスの他間定資産 インスの他間定資産 インスの他間定資産 インスの他間定資産 インスの他間で資産 インスの他間で資産会計 のおりるのものものものものものものものものものものものものものものものものものものも				1, 011, 020
流動資産合計				△ 31 320
2. 固定資産 (1)基本財産 投資有価証券 投資有価証券 で期預金 書通預金 基本財産合計 (2)特定資産 記念事業引当資産 記念事業引当資産 記念事業引当資産 対験では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で				
(1)基本財産 投資有価証券		014, 100, 000	013, 003, 313	△ 0,024,041
接資有価証券 0 20,000,000				
定期預金 普通預金 基本財産合計 (2)特定資産 記念事業引当資産 育理運営引当資産 おた資産取得・改良資金 特定資産百計 (3)その他固定資産 付器備品 電話加入権 その他固定資産合計 (3)をの他固定資産合計 (3)を合計 (3)をの他固定資産合計 (3)をの他固定資産合計 (3)をの他固定資産合計 (3)をの他固定資産合計 (3)をの他固定資産合計 (3)をの他固定資産合計 (3)をの他固定資産合計 (3)をの他固定資産合計 (3)をの他固定資産合計 (3)をの他固定資産合計 (3)をの他固定資産合計 (3)をの他固定資産合計 (3)をの他固定資産合計 (3)をの他固定資産合計 (3)をの他固定資産合計 (3)をの他固定資産合計 (3)をの他固定資産合計 (3)をの他固定資産合計 (3)をの部 (4) をの部 (5) をの部 (5) をの部 (6) をの部 (7) (7) (7) (8) (8) (9) (9) (9) (10) (10) (10) (10) (10) (10) (10) (10		100 000 000	0	100 000 000
普通預金 3,000,000 83,000,000 △ 80,000,000 基本財産合計 103,000,000 103,000,000 103,000,000 (2)特定資産 56,920,000 74,920,000 △ 18,000,000 追職給付引当資産 331,000,000 349,000,000 △ 18,000,000 持定資産財産資産政務・改良資金 152,380,000 152,860,000 △ 480,000 特定資産政務・改良資金 2,500,000 2,500,000 △ 480,000 特定資産合計 717,117,479 764,619,890 △ 47,502,41 (3)その他固定資産 (十器備品 26,850,359 28,433,192 △ 1,582,83 電話加入権 314,370 314,370 314,370 分析表を資産合計 27,164,729 28,747,562 △ 1,582,83 固定資産合計 847,282,208 896,367,452 △ 49,085,24 資産合計 1,461,417,546 1,516,027,431 △ 54,609,88			-	· · ·
基本財産合計		Ŭ		
(2)特定資産 記念事業引当資産				△ 80,000,000
記念事業引当資産		103, 000, 000	103, 000, 000	0
管理運営引当資産		56 020 000	74 020 000	\ 18 000 000
退職給付引当資産				
特定費用準備資金			, ,	
特定資産取得・改良資金			·	
特定資産合計 (3)その他固定資産 (1) (3)その他固定資産 (1) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (5) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4				△ 480,000
(3)その他固定資産				0 0 0 17 500 411
### (日本語語)		717, 117, 479	764, 619, 890	\triangle 47, 502, 411
電話加入権 その他固定資産合計 固定資産合計 関産合計 関連資産合計 関連資産合計 (27,164,729 28,747,562 △ 1,582,83 847,282,208 896,367,452 △ 49,085,24 1,461,417,546 1,516,027,431 △ 54,609,88 1		06 050 050	00 499 100	A 1 FOO OOO
その他固定資産合計 固定資産合計 資産合計 1. 流動負債 未払金 未払法人税等 前受金 有別金 質与引当金 仮受金 流動負債合計 27, 164, 729 28, 747, 562 △ 1, 582, 83 847, 282, 208 896, 367, 452 △ 49, 085, 24 1, 461, 417, 546 1, 516, 027, 431 △ 54, 609, 88 254, 672, 833 264, 021, 215 △ 9, 348, 38 320, 000 320, 000 15, 632, 516 94, 510, 169 72, 178, 212 22, 331, 95 賞与引当金 仮受金 流動負債合計 2. 固定負債 退職給付引当金 174, 317, 479 185, 339, 890 △ 11, 022, 41				\triangle 1, 582, 833
固定資産合計 資産合計				0
資産合計 Ⅱ 負債の部 1. 流動負債 未払金 未払法人税等 前受金 預り金 (反受金 流動負債合計 2. 固定負債 退職給付引当金 1. 複信, 417, 546 1, 516, 027, 431 △ 54, 609, 88 1, 461, 417, 546 1, 516, 027, 431 △ 54, 609, 88 1, 461, 417, 546 1, 516, 027, 431 △ 54, 609, 88 1, 461, 417, 546 1, 516, 027, 431 △ 54, 609, 88 1, 461, 417, 546 1, 516, 027, 431 △ 54, 609, 88 1				
II 負債の部 1. 流動負債 未払金 未払法人税等 前受金 預り金 賞与引当金 仮受金 流動負債合計 2. 固定負債 退職給付引当金 2. 254, 672, 833 2. 264, 021, 215 2. 254, 672, 833 2. 264, 021, 215 2. 264, 021, 215 2. 264, 021, 215 2. 264, 021, 215 2. 264, 021, 215 2. 264, 021, 215 2. 27, 349, 921 3. 20, 000 320, 000 320, 000 320, 000 320, 000 320, 000 320, 100 320, 100 320, 100 320, 100 320, 100 320, 100 320, 100 320, 100 320, 100 320, 100 320, 100 320, 100 320, 100 320, 100 320, 100 320, 100 320, 100 320, 100 320, 11, 632, 51 320, 100 320,				
1. 流動負債 未払金		1, 461, 417, 546	1, 516, 027, 431	△ 54, 609, 885
未払金 254,672,833 264,021,215 △ 9,348,38. 未払法人税等 320,000 320,000 15,632,51. 預り金 94,510,169 72,178,212 22,331,95. 質与引当金 38,717,245 31,837,212 6,880,03. 仮受金 124,400 74,800 49,60. 流動負債合計 636,327,082 600,781,360 35,545,72. 2. 固定負債 174,317,479 185,339,890 △ 11,022,41				
未払法人税等 320,000 320,000 15,632,51 15,632,51 15,632 17,245 31,837,212 6,880,03 124,400 74,800 49,60				
前受金 247, 982, 435 232, 349, 921 15, 632, 51- 預り金 94, 510, 169 72, 178, 212 22, 331, 95 賞与引当金 38, 717, 245 31, 837, 212 6, 880, 03 仮受金 124, 400 74, 800 49, 60 流動負債合計 636, 327, 082 600, 781, 360 35, 545, 72 2. 固定負債 174, 317, 479 185, 339, 890 △ 11, 022, 41			·	\triangle 9, 348, 382
預り金 賞与引当金 仮受金 流動負債合計94,510,169 38,717,245 124,40072,178,212 31,837,212 6,880,03 49,60 636,327,08222,331,95 31,837,212 600,781,3602. 固定負債 退職給付引当金174,317,479185,339,890△ 11,022,41		-		0
賞与引当金 仮受金 流動負債合計38,717,245 124,40031,837,212 74,8006,880,03 49,600 35,545,722. 固定負債 退職給付引当金636,327,082 174,317,479600,781,360 185,339,890 185,339,890 11,022,41				
仮受金 124,400 74,800 49,600 流動負債合計 636,327,082 600,781,360 35,545,72 2. 固定負債 174,317,479 185,339,890 △ 11,022,41				
 流動負債合計 2. 固定負債 退職給付引当金 636, 327, 082 600, 781, 360 35, 545, 72 174, 317, 479 185, 339, 890 △ 11, 022, 41 				
2. 固定負債 174,317,479 185,339,890 △ 11,022,41			· ·	·
退職給付引当金 174,317,479 185,339,890 △ 11,022,41		636, 327, 082	600, 781, 360	35, 545, 722
固定負債合計				
				\triangle 11, 022, 411
		810, 644, 561	786, 121, 250	24, 523, 311
Ⅲ 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
77 (200			0
11/2-1/1/11/11		· · ·	·	0
				(0)
				(0)
				\triangle 79, 133, 196
				(0)
(うち特定資産への充当額) (542,800,000) (579,280,000) (△36,480,000)	(うち特定資産への充当額)	(542, 800, 000)	(579, 280, 000)	$(\triangle 36, 480, 000)$
	正味財産合計	650, 772, 985	729, 906, 181	△ 79, 133, 196
正味財産合計 負債及び正味財産合計 (650,772,985) 729,906,181 △ 79,133,19 1,461,417,546 1,516,027,431 △ 54,609,88				

令和元年度正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

科目	当年度	前年度	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1)経常収益				
①基本財産運用益	2, 664	1, 239, 708	△ 1, 237, 044	
1 基本財産運用益	2, 664	1, 239, 708		
基本財産受取利息等	2, 664	1, 239, 708		
②特定資産運用益	181, 612	176, 096		
1 特定資産運用益	181, 612	176, 096	5, 516	
特定資産受取利息等	181, 612	176, 096	5, 516	
③事業収益	1, 997, 368, 944	2, 137, 233, 034	△ 139, 864, 090	
1 自主・共催事業収益	627, 364, 081	704, 069, 426	△ 76, 705, 345	
入場料収益	156, 212, 530	166, 686, 965	△ 10, 474, 435	
参加料収益	2, 376, 700	1,801,000	575, 700	
友の会会費	54, 263, 200	59, 152, 000		
京響コーラス会費	2, 913, 000	3, 288, 000	△ 375,000	
広告料収益	29, 076, 718	19, 766, 511		
共催事業収益	233, 067, 597	274, 459, 526	△ 41, 391, 929	
助成金収益	146, 601, 152	175, 708, 880	△ 29, 107, 728	
物品販売等収益	2, 318, 442	2, 679, 884	△ 361, 442	
著作隣接権等収益	534, 742	526, 660	8, 082	
2 事業受託収益	123, 192, 067	146, 567, 202	△ 23, 375, 135	
事業受託収益	123, 192, 067	146, 567, 202	△ 23, 375, 135	
3 管理受託収益	635, 833, 329	651, 936, 000	△ 16, 102, 671	
管理受託収益	635, 833, 329	651, 936, 000	△ 16, 102, 671	
4 利用料収益	569, 621, 065	591, 230, 938	△ 21,609,873	
机利用料金収益	541, 320, 915	560, 074, 888	△ 18, 753, 973	
駐車場利用料金収益	28, 300, 150	31, 156, 050	△ 2,855,900	
5 その他事業収益	41, 358, 402	43, 429, 468	△ 2,071,066	
企画・演出手数料等収益	8, 001, 978	9, 079, 646	△ 1,077,668	
賑わい事業収益	21, 214, 628	19, 440, 000	1, 774, 628	
プレイガイド事務手数料収益	12, 141, 796	14, 909, 822	\triangle 2, 768, 026	
④受取補助金等	715, 809, 421	702, 292, 873	13, 516, 548	
1 受取地方公共団体補助金	715, 809, 421	702, 292, 873	13, 516, 548	
京都市補助金	715, 809, 421	702, 292, 873	13, 516, 548	
⑤受取寄付金	7, 100, 000	7, 402, 990	△ 302, 990	
1 受取寄付金	7, 100, 000	7, 402, 990	△ 302, 990	
寄付金収益	7, 100, 000	7, 402, 990	△ 302, 990	
⑥雑収益	28, 871, 975	10, 254, 896	18, 617, 079	
1 雑収益	28, 871, 975	10, 254, 896	18, 617, 079	
受取利息等	50	47	3	
管理手数料等収益	13, 534, 818	9, 261, 235	4, 273, 583	
雑収益	15, 337, 107	993, 614	14, 343, 493	
経常収益合計	2, 749, 334, 616	2, 858, 599, 597	△ 109, 264, 981	

令和元年度正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

科目	当年度	前年度	増減	(単位:円) 備 考
(2)経常費用	22	1 22	H 1/23	,,,, J
①事業費	2, 802, 888, 721	2, 835, 566, 666	△ 32, 677, 945	
役員報酬	3, 921, 795	3, 383, 177	538, 618	
給料手当	1, 043, 662, 041		·	
賞与引当金繰入額	37, 313, 121	30, 968, 929	6, 344, 192	
退職給付費用	14, 743, 477	9, 960, 682	4, 782, 795	
臨時雇賃金	44, 087, 433	58, 393, 099		
福利厚生費	178, 214, 152	174, 035, 027	4, 179, 125	
会議費	852	2, 470	△ 1,618	
旅費交通費	34, 718, 308	37, 629, 570	\triangle 1, 616 \triangle 2, 911, 262	
通信運搬費	20, 480, 215	23, 176, 279	\triangle 2, 311, 202 \triangle 2, 696, 064	
減価償却費	13, 616, 654	11, 070, 165	2, 546, 489	
消耗什器備品費	1, 036, 854	10, 934, 396	\triangle 9, 897, 542	
消耗品費	35, 322, 182	30, 800, 584		
商品費	538, 924	944, 506	△ 405, 582	
修繕費	25, 935, 486	26, 736, 194	△ 800, 708	
印刷製本費	39, 226, 279	38, 751, 049	475, 230	
広告宣伝費	34, 359, 261	32, 573, 279		
光熱水料費	168, 212, 935	181, 828, 373		
賃借料	59, 814, 137	65, 405, 759		
保険料	1, 907, 141	1, 920, 153	△ 13, 012	
諸謝金	3, 455, 125	3, 224, 720	230, 405	
租税公課	47, 816, 504	52, 333, 568		
支払負担金	2, 628, 423	25, 375, 047		
チケット購入額	24, 908	21, 160	3, 748	
支援事業助成金	100, 000	100, 000	0	
委託費	980, 596, 404	1, 005, 465, 665	△ 24, 869, 261	
支払手数料等	6, 510, 641	5, 494, 294	1, 016, 347	
雑費	4, 645, 469	7, 176, 272	△ 2, 530, 803	
②管理費	25, 259, 091	21, 823, 260	3, 435, 831	
役員報酬	3, 224, 200	2, 839, 473	384, 727	
給料手当	12, 278, 149	11, 078, 399	1, 199, 750	
賞与引当金繰入額	1, 404, 124	868, 283	535, 841	
退職給付費用	533, 674	640, 202	△ 106, 528	
福利厚生費	3, 342, 004	3, 339, 398	2, 606	
会議費	131, 083	91, 765	39, 318	
旅費交通費	253, 770	164, 250	89, 520	
通信運搬費	64, 407	88, 298	△ 23,891	
減価償却費	66, 159	370, 811	△ 304, 652	
消耗什器備品費	97, 200	119, 016	△ 21,816	
消耗品費	290, 307	408, 715	△ 118, 408	
修繕費	10, 450	29, 160	△ 18,710	
諸謝金	556, 489	385, 200	171, 289	

令和元年度正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

	£[B	业左库	公尺库	4. 6 ±4.1	(単位:円)
-	——科	Ħ	当年度	前年度	増減	備考
	租税公課		1, 746, 574	971, 982	774, 592	
	支払負担金		248, 540	248, 540	0	
	委託費		967, 069	152, 410	814, 659	
	接遇交際費		20,000	10,000	10,000	
	支払手数料等	至	24, 892	17, 358	7, 534	
	経常費用合計		2, 828, 147, 812	2, 857, 389, 926	△ 29, 242, 114	
	当期経常増減額		△ 78, 813, 196	1, 209, 671	△ 80, 022, 867	
2	2. 経常外増減の部					
	(1)経常外収益					
	経常外収益計		0	0	0	
	(2)経常外費用					
	経常外費用計		0	0	0	
	当期経常外増減額		0	0	0	
	他会計振替額		0	0	0	
	税引前当期一般正明	未財産増減額	△ 78, 813, 196	1, 209, 671	△ 80, 022, 867	
	法人税,住民税及び	ド事業税	320,000	320, 000	0	
	当期一般正味財産均	曽減額	△ 79, 133, 196	889, 671	△ 80, 022, 867	
	一般正味財産期首例	 浅高	674, 906, 181	674, 016, 510	889, 671	
	一般正味財産期末死	 浅高	595, 772, 985	674, 906, 181	△ 79, 133, 196	
П	指定正味財産増減の部	FIS .				
	当期指定正味財産均	曽減額	0	0	0	
	指定正味財産期首例	 表高	55, 000, 000	55, 000, 000	0	
	指定正味財産期末死	 表高	55, 000, 000	55, 000, 000	0	
Ш	正味財産期末残高		650, 772, 985	729, 906, 181	△ 79, 133, 196	

令和元年度正味財産増減計算書 内訳書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

		公益目的事業		収益事業等			(半位:円)
科目	公1	公2			法人会計	内部取引消去	合 計
行 日	文化芸術事業	オークストラによる 文化芸術事業	小 計	物品販売等公益目的外事業	佐八 五司	1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.	`⊟ ĀI
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1)経常収益							
①基本財産運用益	2, 664	0	2, 664	0	0		2, 664
1 基本財産運用益	2, 664	0	2, 664	0	0		2, 664
基本財産受取利息等	2, 664	0	2, 664	0			2, 664
②特定資産運用益	181, 612	0	181, 612	0			181, 612
1 特定資産運用益	181, 612	0	181, 612	0	0		181, 612
特定資産受取利息等 ③事業収益	181, 612		181, 612	0	0		181, 612 1, 997, 368, 944
① 事 果収益 1 自主・共催事業収益	1, 386, 361, 772 365, 992, 185	409, 956, 127 259, 053, 454	1, 796, 317, 899 625, 045, 639	367, 992, 004 2, 483, 361	25, 259, 091 0		627, 364, 081
入場料収益	79, 273, 880	76, 938, 650	156, 212, 530	2, 403, 301	0		156, 212, 530
参加料収益	2, 376, 700	0	2, 376, 700	0	0		2, 376, 700
友の会会費	2, 761, 000		54, 263, 200	0	0		54, 263, 200
京響コーラス会費	0	2, 913, 000	2, 913, 000	0	0	0	2, 913, 000
広告料収益	22, 006, 718	7, 070, 000	29, 076, 718	0	0	0	29, 076, 718
共催事業収益	191, 439, 735	41, 627, 862	233, 067, 597	0	0	0	233, 067, 597
助成金収益	68, 134, 152	78, 467, 000	146, 601, 152	0	0	0	146, 601, 152
物品販売等収益	0	0	0	2, 483, 361	0	△ 164, 919	2, 318, 442
著作隣接権等収益	0	534, 742	534, 742	0	0	0	534, 742
2 事業受託収益	8, 490, 616	150, 902, 673	159, 393, 289	0	0	△ 36, 201, 222	123, 192, 067
事業受託収益	8, 490, 616	150, 902, 673	159, 393, 289	0	0	△ 36, 201, 222	123, 192, 067
3 管理受託収益	507, 966, 910	0	507, 966, 910	102, 607, 328	25, 259, 091	0	635, 833, 329
管理受託収益	507, 966, 910	0	507, 966, 910	102, 607, 328	25, 259, 091	0	635, 833, 329
4 利用料収益	503, 912, 061	0	503, 912, 061	207, 918, 911	0	△ 142, 209, 907	569, 621, 065
おお利用料金収益	503, 912, 061	0	503, 912, 061	179, 618, 761	0	△ 142, 209, 907	541, 320, 915
駐車場利用料金収益	0	0	0	28, 300, 150	0		28, 300, 150
5 その他事業収益	0	0	0	54, 982, 404	0	_ , ,	41, 358, 402
企画・演出手数料等収益 賑わい事業収益		0	0	10, 729, 375 21, 214, 628	0	_ , ,	8, 001, 978
アンケオース 一番	0	0	0	23, 038, 401	0		21, 214, 628 12, 141, 796
④受取補助金等	0	710, 225, 664	710, 225, 664	5, 583, 757	0		715, 809, 421
1 受取地方公共団体補助金	0	710, 225, 664	710, 225, 664	5, 583, 757	0		715, 809, 421
京都市補助金	0	710, 225, 664	710, 225, 664	5, 583, 757	0		715, 809, 421
⑤受取寄付金	6, 100, 000		7, 100, 000	0	0		7, 100, 000
1 受取寄付金	6, 100, 000	1,000,000	7, 100, 000	0	0		7, 100, 000
寄付金収益	6, 100, 000	1,000,000	7, 100, 000	0	0	0	7, 100, 000
⑥雑収益	11, 776, 656	0	11, 776, 656	17, 095, 319	0	0	28, 871, 975
1 雑収益	11, 776, 656	0	11, 776, 656	17, 095, 319	0	0	28, 871, 975
受取利息等	50	0	50	0	0	0	50
管理手数料等収益	0	0	0	13, 534, 818	0	0	13, 534, 818
雑収益	11, 776, 606	0	11, 776, 606	3, 560, 501	0	0	15, 337, 107
経常収益合計	1, 404, 422, 704	1, 121, 181, 791	2, 525, 604, 495	390, 671, 080	25, 259, 091	△ 192, 200, 050	2, 749, 334, 616

令和元年度正味財産増減計算書 内訳書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

		公益目的事業		収益事業等			(平位、口)
27	公1	公2			M. I. A.E.I.	스	Λ 31
科目	文化芸術事業	オーケストラによる 文化芸術事業	小計	物品販売等 公益目的外事業	法人会計	内部取引消去	合 計
(2)経常費用							
①事業費	1, 447, 287, 604	1, 156, 864, 353	2, 604, 151, 957	390, 936, 814	0	△ 192, 200, 050	2, 802, 888, 721
役員報酬	2, 241, 026	1, 400, 641	3, 641, 667	280, 128	0	0	3, 921, 795
給料手当	296, 061, 311	631, 620, 957	927, 682, 268	115, 979, 773	0	0	1, 043, 662, 041
賞与引当金繰入額	23, 996, 565	4, 142, 777	28, 139, 342	9, 173, 779	0	0	37, 313, 121
退職給付費用	11, 553, 395	266, 836	11, 820, 231	2, 923, 246	0	0	14, 743, 477
臨時雇賃金	12, 534, 609	6, 256, 743	18, 791, 352	25, 296, 081	0	0	44, 087, 433
福利厚生費	53, 592, 539	102, 024, 393	155, 616, 932	22, 597, 220	0	0	178, 214, 152
会議費	852	0	852	0	0	0	852
旅費交通費	11, 455, 657	22, 964, 310	34, 419, 967	307, 181	0	△ 8,840	34, 718, 308
通信運搬費	10, 063, 090	9, 569, 523	19, 632, 613	847, 602	0	0	20, 480, 215
減価償却費	2, 781, 941	9, 654, 311	12, 436, 252	1, 180, 402	0	0	13, 616, 654
消耗什器備品費	571, 267	205, 012	776, 279	260, 575	0	0	1, 036, 854
消耗品費	21, 243, 908	7, 494, 716	28, 738, 624	6, 583, 558	0	0	35, 322, 182
商品費	0	0	0	538, 924	0	0	538, 924
見本費	0	0	0	9, 234	0	△ 9, 234	C
修繕費	19, 986, 028	1, 856, 993	21, 843, 021	4, 092, 465	0	0	25, 935, 486
印刷製本費	27, 148, 936	11, 086, 790	38, 235, 726	990, 553	0	0	39, 226, 279
広告宣伝費	17, 604, 977	16, 494, 531	34, 099, 508	351, 445	0	△ 91,692	34, 359, 261
光熱水料費	128, 156, 975	4, 662, 534	132, 819, 509	35, 393, 426	0	0	168, 212, 935
賃借料	111, 357, 742	84, 983, 283	196, 341, 025	2, 115, 157	0	△ 138, 642, 045	59, 814, 137
保険料	729, 794	1, 092, 670	1, 822, 464	84, 677	0	0	1, 907, 141
諸謝金	1, 124, 902	1, 896, 960	3, 021, 862	433, 263	0	0	3, 455, 125
租税公課	26, 223, 125	4, 545, 784	30, 768, 909	17, 047, 595	0	0	47, 816, 504
支払負担金	1, 643, 617	795, 000	2, 438, 617	189, 806	0	0	2, 628, 423
チケット購入額	24, 908	0	24, 908	0	0	0	24, 908
支援事業助成金	3, 712, 037	0	3, 712, 037	0	0	△ 3, 612, 037	100, 000
委託費	660, 145, 465	228, 856, 182	889, 001, 647	141, 411, 141	0	△ 49, 816, 384	980, 596, 404
支払手数料等	2, 313, 031	2, 121, 005	4, 434, 036	2, 076, 605	0	0	6, 510, 641
維費	1, 019, 907	2, 872, 402	3, 892, 309	772, 978	0	△ 19,818	4, 645, 469
②管理費	0	0	0	0	25, 259, 091	0	25, 259, 091
役員報酬	0	0	0	0	3, 224, 200	0	3, 224, 200
給料手当	0	0	0	0	12, 278, 149	0	12, 278, 149
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	1, 404, 124	0	1, 404, 124
退職給付費用	0	0	0	0	533, 674	0	533, 674
福利厚生費	0	0	0	0	3, 342, 004	0	3, 342, 004
会議費	0		0	0	131, 083	0	131, 083
旅費交通費	0	0	0	0	253, 770	0	253, 770
通信運搬費	0		0	0	64, 407	0	64, 407
減価償却費	0		0	0	66, 159	0	66, 159
消耗什器備品費	0	0	0	0	97, 200	0	97, 200
消耗品費	0		0	0	290, 307	0	290, 307
修繕費	0	0	0	0	10, 450	0	10, 450
諸謝金	0	0	0	0	556, 489	0	556, 489

令和元年度正味財産増減計算書 内訳書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

_								(単位・口)
			公益目的事業		収益事業等			
	科目	公1	公2			法人会計	内部取引消去	合 計
	4 1 Li	文化芸術事業	オーケストラによる 文化芸術事業	小 計	物品販売等公益目的外事業	仏八云町	r 100 W JIT A	
	租税公課	0	0	0	0	1, 746, 574	0	1, 746, 574
	支払負担金	0	0	0	0	248, 540	0	248, 540
	委託費	0	0	0	0	967, 069	0	967, 069
	接遇交際費	0	0	0	0	20,000	0	20,000
	支払手数料等	0	0	0	0	24, 892	0	24, 892
	経常費用合計	1, 447, 287, 604	1, 156, 864, 353	2, 604, 151, 957	390, 936, 814	25, 259, 091	△ 192, 200, 050	2, 828, 147, 812
	当期経常増減額	△ 42, 864, 900	△ 35, 682, 562	△ 78, 547, 462	△ 265, 734	0	0	△ 78, 813, 196
:	2. 経常外増減の部							
	(1)経常外収益							
	経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
	(2)経常外費用							
	経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
	当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
	他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0
	税引前当期一般正味財産増減額	△ 42, 864, 900	△ 35, 682, 562	△ 78, 547, 462	△ 265, 734	0	0	△ 78, 813, 196
	法人税,住民税及び事業税	0	0	0	320, 000	0	0	320, 000
	当期一般正味財産増減額	△ 42, 864, 900	△ 35, 682, 562	△ 78, 547, 462	△ 585, 734	0	0	△ 79, 133, 196
	一般正味財産期首残高			673, 294, 496	1, 611, 685	0	0	674, 906, 181
	一般正味財産期末残高			594, 747, 034	1, 025, 951	0	0	595, 772, 985
П	指定正味財産増減の部							
	当期指定正味財産増減額			0	0	0	0	0
	指定正味財産期首残高			55, 000, 000	0	0	0	55, 000, 000
	指定正味財産期末残高			55, 000, 000	0	0	0	55, 000, 000
Ш	正味財産期末残高			649, 747, 034	1, 025, 951	0	0	650, 772, 985

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券…購入時の取得価額による。なお償却原価法については、取得価額と債券金額との差額について重要性に乏しいため、適用していない。

(2) たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品及び貯蔵品…先入先出法による原価法を採用している。

(3) 固定資産の減価償却の方法

当財団会計規程第21条に従い、償却費の計算は定率法により行っており、勘定記入の方法は直接法により行っている。

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金…職員に対する賞与の支給に備えるため、当期に帰属する期間の支給見込み額を引き当ている。

退職給付引当金…職員の退職金の支払に備えるため、財団の規程に基づき算出した要支給額の全額を て引き当てている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の取扱いについては、税込処理方式を採用している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	0	100, 000, 000	0	100, 000, 000
定期預金	20, 000, 000	0	20, 000, 000	0
普通預金	83, 000, 000	0	80, 000, 000	3, 000, 000
小 計	103, 000, 000	100, 000, 000	100, 000, 000	103, 000, 000
特定資産				
記念事業引当資産	74, 920, 000	0	18, 000, 000	56, 920, 000
管理運営引当資産	349, 000, 000	0	18, 000, 000	331, 000, 000
退職給付引当資産	185, 339, 890	12, 112, 550	23, 134, 961	174, 317, 479
特定費用準備資金	152, 860, 000	1,840,000	2, 320, 000	152, 380, 000
特定資産取得・改良資金	2, 500, 000	0	0	2, 500, 000
小 計	764, 619, 890	13, 952, 550	61, 454, 961	717, 117, 479
合 計	867, 619, 890	113, 952, 550	161, 454, 961	820, 117, 479

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
京都市債	100, 000, 000	(55, 000, 000)	(45, 000, 000)	_
普通預金	3,000,000	(0)	(3,000,000)	-
小 計	103, 000, 000	(55, 000, 000)	(48, 000, 000)	(0)
特定資産				
記念事業引当資産	56, 920, 000	(0)	(56, 920, 000)	_
管理運営引当資産	331, 000, 000	(0)	(331, 000, 000)	_
退職給付引当資産	174, 317, 479	(0)	(0)	(174, 317, 479)
特定費用準備資金	152, 380, 000	(0)	(152, 380, 000)	_
特定資産取得・改良資金	2, 500, 000	(0)	(2,500,000)	_
小 計	717, 117, 479	(0)	(542, 800, 000)	(174, 317, 479)
合 計	820, 117, 479	(55,000,000)	(590, 800, 000)	(174, 317, 479)

4. 固定資産取得価額,減価償却累計額及び当期末残高

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	155, 230, 295	128, 379, 936	26, 850, 359

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額, 時価及び評価損益 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価並びに評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益	
京都市債5年(平成27年度第3回)	30, 000, 000	30, 018, 000	18,000	退職給付引当資産
京都府公募債(平成28年第6回)	30, 000, 000	30, 003, 900	3, 900	退職給付引当資産
京都市債5年(平成29年度第2回)	50, 000, 000	50, 005, 000	5,000	管理運営引当資産
京都市債5年(平成30年度第2回)	50, 000, 000	50, 015, 000	15,000	管理運営引当資産
京都市債5年(令和元年度第2回)	50, 000, 000	49, 955, 000	\triangle 45,000	管理運営引当資産
18回 京都市公募公債(20年)	100, 000, 000	98, 850, 000	\triangle 1, 150, 000	基本財産投資有価証券
合 計	310, 000, 000	308, 846, 900	\triangle 1, 153, 100	

6. 補助金等の内訳並びに交付者, 当期の増減額及び残高 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金の名称及び交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
補助金				
財団運営事業補助金	0	715, 809, 421	715, 809, 421	0
交付者 京都市				
受取補助金計	0	715, 809, 421	715, 809, 421	0
助成金				
舞台芸術創造活動活性化事業	0	72, 531, 000	72, 531, 000	0
交付者 独立行政法人				
日本芸術文化振興会				
芸術創造普及活動助成	0	5, 426, 000	5, 426, 000	0
(現代舞台芸術創造普及活動助成)				
交付者 独立行政法人				
日本芸術文化振興会				
地域文化振興活動助成	0	270,000	270,000	0
(地域文化施設公演・展示活動助成)				
交付者 独立行政法人				
日本芸術文化振興会				
劇場・音楽堂等機能強化推進事業	0	34, 766, 052	34, 766, 052	0
交付者 独立行政法人				
日本芸術文化振興会				
音楽公演助成	0	28, 600, 000	28, 600, 000	0
交付者 公益財団法人				
ロームミューシ゛ックファンテ゛ーション				
公演助成	0	122, 100	122, 100	0
交付者 アンスティ				
チュ・フランセ				
公演助成	0	4, 376, 000	4, 376, 000	0
交付者 一般財団法人				
地域創造				
公演助成	0	500,000	500, 000	0
交付者 公益財団法人				
アフィニス文化財団				
広告助成	0	10,000	10,000	0
交付者 公益社団法人				
日本オーケストラ連盟				
受取助成金計	0	146, 601, 152	146, 601, 152	0
合 計	0	862, 410, 573	862, 410, 573	0

財 産 目 録

令和2年3月31日現在

14: 14+ ±	4.四字列口	18 = C		(単位:円)
	対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	TH A	元 ⇒ □ ☆	宇宙 次 久 1. 1 マ	F 700 040
	現金	手許保管	運転資金として	5, 700, 943
	普通預金	総務課,管理課,事業企画課 京都銀行下鴨支店	n,	62 127 200
		三菱UFJ銀行京都支店	" "	63, 127, 290
		京都中央信用金庫北烏丸支店	" "	27, 846, 146
		京都信用金庫北山支店	" "	64, 856
		滋賀銀行北大路支店	" "	551, 164
		□ 磁負 歌行 礼 入 龄 又 店 □ 三井住友信託銀行京都支店	" "	19, 950 19, 920
		三井住友銀行京都支店	" "	17, 332
		一	" "	6, 260, 983
		京都市交響楽団	"	0, 200, 903
		京都銀行下鴨支店	ıı	39, 970, 757
		三菱UFJ銀行京都支店	" "	86, 813, 547
		三井住友銀行京都支店	" "	33, 600
		京都中央信用金庫北烏丸支店	" "	3, 116, 045
		京都信用金庫北山支店	" "	2, 145, 694
		りそな銀行京都支店	" "	58, 844
		ロームシアター京都	"	30, 044
		京都銀行市役所前支店	ıı	67, 587, 680
		京都市東部文化会館	"	07, 567, 660
		京都銀行山科中央支店	ıı	9, 123, 734
		京都市呉竹文化センター	"	9, 123, 734
		京都銀行伏見支店	n,	6, 880, 528
			"	0, 000, 020
		京都市西文化会館ウエスティ 京都銀行上桂支店	n,	7 114 200
			"	7, 114, 209
		京都市北文化会館		7 595 057
		京都銀行鞍馬口支店	"	7, 535, 957
		京都中央信用金庫北烏丸支店	"	154, 180
		京都市右京ふれあい文化会館		10 001 001
	郵便振替	京都銀行太秦安井支店		12, 021, 301
l l	野 伊旅省	管理課	" "	1, 177, 832
		京都市交響楽団		17, 463, 819
		ロームシアター京都 京都市東部文化会館	II II	2, 396, 982
			" "	304, 010
		京都市呉竹文化センター	" "	521
		京都市西文化会館ウエスティ京都市北文化会館	"	87, 965
		京都市右京ふれあい文化会館	" "	524, 666 523, 626
		京都川石水が4000、大江云路	" 《現金預金計》	368, 644, 081
	未収金	総務課	指定管理料等	70, 006, 307
	木 収金	管理課,事業企画課	ホール利用料金等	17, 097, 945
	京都市交響楽団	公演料,助成金等	43, 452, 497	
	ロームシアター京都	ホール利用料金等	101, 583, 469	
	京都市東部文化会館	ルール利用材並等	20	
	京都市西文化会館ウエスティ	" "	26, 530	
		京都市右京ふれあい文化会館	"	240, 690
		京都川石永か40800 文化云路		
	貯蔵品	管理課	<未収金計> 販売用商品	232, 407, 458 814, 858
[x 1 /EX DD	京都市交響楽団		
		京都中父警栄団 ロームシアター京都	〃 照明用ポリカラー	1, 294, 605
		京都市東部文化会館	思明用** リルブー	2, 247, 028 560, 703
		京都市呉竹文化センター	"	551, 819
		京都市西文化会館ウエスティ	"	1, 062, 459
		京都市北文化会館	II	468, 559

貸借	対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
		京都市右京ふれあい文化会館	照明用ポリカラー	437, 502
			<貯蔵品計>	7, 437, 533
	立替金	総務課	光熱水料費等	39, 472
		管理課, 事業企画課	n	2, 211, 737
		ロームシアター京都	事業に関する立替金等	3, 341, 248
		東部文化会館	光熱水料費等	6, 309
		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	<立替金計>	5, 598, 766
	仮払金	総務課	貸倉庫の保証金	30,000
	100,100	17.4 P. V.	<仮払金計>	30, 000
	前払金	総務課	交通ICカート (ICOCA) 保証金	17, 500
	11.112	WING TOO BOLK	<前払金計>	17, 500
流動資産合計		I	1144 4- (2007 14.1.)	614, 135, 338
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券	18回 京都市公募公債(20年)	運用益を公益目的事業の財源と	100, 000, 000
	普通預金	京都銀行下鴨支店	している	3,000,000
		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	<基本財産計>	103, 000, 000
特定資産	記念事業引当資産	普通預金 京都銀行下鴨支店	"	56, 920, 000
, _ >< ,		THE PARTY INVOVIA	<記念事業引当資産計>	56, 920, 000
	管理運営引当資産	京都市債平成29年度第2回(5年)	川	50, 000, 000
	1.4211144	京都市債平成30年度第2回(5年)	ll.	50, 000, 000
		京都市債令和元年度第2回(5年)	 II	50, 000, 000
		定期預金 京都銀行下鴨支店	 	10, 000, 000
		定期預金 三菱UFJ銀行京都支店	 II	10, 000, 000
		定期預金 三井住友銀行京都支店	 II	10, 000, 000
		定期預金 三井住友信託銀行京都支店	" "	10, 000, 000
		定期預金 京都中央信用金庫北烏丸支店	""	10, 000, 000
				10, 000, 000
		定期預金 滋賀銀行北大路支店	"	· · ·
		普通預金 京都銀行下鴨支店	// Anti-stri Net 31/4 71/1/4 Wes see 31/5	121, 000, 000
	\P #\		<管理運営引当資産計>	331, 000, 000
	退職給付引当資産	京都市債平成27年度第3回(5年)	退職給付引当金に充てる	30,000,000
		京都府債第8回京都みらい債(5年)	II .	29, 911, 800
		定期預金 京都信用金庫北山支店	JJ	10, 000, 000
		定期預金 みずほ信託銀行京都支店	JJ	10, 000, 000
		普通預金 京都銀行下鴨支店	n .	94, 405, 679
			<退職給付引当資産計>	174, 317, 479
	特定費用準備資金	普通預金 京都銀行下鴨支店	記念公演等	32, 000, 000
		II	II .	40, 000, 000
		II	II .	7, 040, 000
		II	II .	1, 840, 000
		II	II .	71, 500, 000
			<特定費用準備資金計>	152, 380, 000
	特定資産取得・改良資金	普通預金 京都銀行下鴨支店	什器備品購入	2, 500, 000
			<特定資産取得・改良資金計>	2, 500, 000
その他固定資産	什器備品	総務課	什器備品	1, 619, 643
		管理課, 事業企画課	II.	3, 193, 140
		京都市交響楽団	n .	12, 829, 868
		ロームシアター京都	II .	4, 230, 854
		京都市東部文化会館	II .	954, 419
		京都市呉竹文化センター	II.	1, 018, 236
		京都市西文化会館ウエスティ	II.	1, 235, 996
		京都市北文化会館	II.	927, 108
		京都市右京ふれあい文化会館	II.	841, 095
		The state of the s	<什器備品計>	26, 850, 359
	電話加入権	管理課, 事業企画課	電話加入権	314, 370
	- GHE/YE/ SIE	H	<電話加入権計>	314, 370
		1		847, 282, 208
資産合計				1, 461, 417, 546

貸借	持対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)				
	未払金	総務課	人件費等	69, 610, 158
		管理課, 事業企画課	公演経費,ホール運営経費等	26, 422, 675
		ロームシアター京都	"	40, 045, 202
		京都市交響楽団	人件費, 公演経費等	108, 951, 398
		京都市東部文化会館	ホール運営経費等	2, 504, 723
		京都市呉竹文化センター	II .	1, 526, 658
		京都市西文化会館ウエスティ	II .	966, 701
		京都市北文化会館	II .	2, 510, 199
		京都市右京ふれあい文化会館	II .	2, 135, 119
			<未払金計>	254, 672, 833
	未払法人税等	総務課	法人税等	320,000
			<未払法人税計>	320,000
	前受金	管理課, 事業企画課	ホール利用料金等	43, 208, 895
		京都市交響楽団	友の会会費等	48, 448, 000
		ロームシアター京都	ホール利用料金等	134, 350, 260
		京都市東部文化会館	II	3, 019, 730
		京都市呉竹文化センター	II .	5, 684, 820
		京都市西文化会館ウエスティ	II .	3, 305, 550
		京都市北文化会館	JJ	4, 725, 350
		京都市右京ふれあい文化会館	II .	5, 239, 830
			<前受金計>	247, 982, 435
	預り金	総務課	社会保険料等	7, 067, 792
		管理課, 事業企画課	チケット購入代金等	48, 800, 616
		京都市交響楽団	II	17, 495, 207
		ロームシアター京都	公演料, 助成金等	19, 983, 420
		京都市東部文化会館	舞台設備料等	708, 565
		京都市呉竹文化センター	II	220
		京都市西文化会館ウエスティ	<i>11</i>	138, 974
		京都市北文化会館	<i>y</i>	22, 869
		京都市右京ふれあい文化会館	<i>y</i>	292, 506
			<預り金計>	94, 510, 169
	賞与引当金	職員	賞与引当金	38, 717, 245
			<賞与引当金計>	38, 717, 245
	仮受金	管理課	誤入金	4,000
		ロームシアター京都	<i>11</i>	120, 400
			<仮受金計>	124, 400
流動負債合計	†			636, 327, 082
(固定負債)	退職給付引当金	職員	職員退職給付引当金	174, 317, 479
			<退職給付引当金計>	174, 317, 479
固定負債合計	†			174, 317, 479
負債合計				810, 644, 561
正味財産				650, 772, 985